京城日報
夕刊
八月一日（木）
編輯兼發行人 小川三之介 印刷人 ……
發行所 京城府太平通一丁目 京城日報社

うなぎ 料理 水炊
本町二 喜久家 電本一三八三
風呂が沸いてゐます

政務の打合を了へ 總督明朝東京出發か
西園寺公を訪問して 歸任の途に就く

【東京電話】山梨總督と濱口首相の會見にて首相は嚮に總督の進退問題に關し事態を迎したとさるゝに對し、一部では首相は政務打合せ以外進退問題に言及するところなく總督も何等意思を表明せず會見をおへたもので、總督は今明日中に首相の所謂政務の打合を完了し、二日朝七時四十分東京發御殿場に西園寺公を訪問の上歸任の途につく豫定を有してをると傳へられてゐる

宇垣陸相が斡旋するか

【東京電話】山梨總督の進退問題に關して三十一日午後六時濱口首相は宇垣陸相、松田拓相と協議したが軍部の關係上宇垣陸相が萬と山梨總督と會見して總督の意中を確め、政府との間を斡旋し、圓滿に總督の進退問題を解決するものと見られてゐる

內地程度までには 復活の見込あらん
さうなれば浮上るものも多數

內地の實行豫算が總豫算に比し五分強の九千余萬圓を節減繰のべせしに對し朝鮮は七分強の千八百余萬圓の節減繰延べを强ゐられることは朝鮮の特殊事情を無視するものとして一般から政府の態度を非常に注目されてゐるが、しかし井上藏相の如きも朝鮮の特殊事業は十分認めると言明してゐる程であるから相當復舊要求は容れられるものと見られてゐるが、尠くとも內地の五分位の提度までには漕付け得るものと豫想され、若し五分とすれば削減額一千二百萬圓內外となり、現在危險視されてゐる事業にして復活するものも相當多數に達し得るものと見られてゐる

陸軍大異動
朝鮮のみても軍司令官と軍參謀長が更迭し、十九師團長が勇退した外進級異動實に多數
◇—本日發表せらる

傳達式

【東京電話】陸軍大異動に就て親任職補の式は天皇陛下御避暑中につき行はせられず、一日午前十時より陸軍大臣官邸で左の如く官記職記の傳達式を行つた

任陸軍大將 東京警備司令官 中將 岸本鹿太郎
補朝鮮軍司令官 近衛師團長 中將 南 次郎
補東京警備司令官 同 長谷川直敏
補近衛師團長 教育總監部本部長 同 林 銑十郎
補第六師團長 陸軍大學校長 同 荒木 貞夫
補第十四師團長 陸軍省整備局長 中將 松木 直亮
補第十九師團長 陸軍省人事局長 同 川島 義之

なほ地方在任者は別に官記職記の傳達が行はれ

發表

其他の異動は左の如く發表された

進級

臺灣軍司令官 中將 菱刈 隆
東京警備司令官 同 岸本鹿太郎
任陸軍大將（各通）
近衛步兵第二旅團長 少將 飯田 次助
所澤飛行學校長 同 古谷 淸
陸地測量部長 同 大村 齊
砲兵工科學校長 同 松井 順
朝鮮軍參謀長 同 寺內 壽一
憲兵司令官 同 峯 幸松
兵器本廠附 同 井染 祿朗
陸軍大學校幹事 同 多門 二郎
野戰重砲兵第四旅團長 同 石川 通中
騎兵第四旅團長 同 服部 國彥
騎兵監 同 森 傳
駐支大使館附武官 同 建川 美次
近衛師團司令部附 同 大村 有隣
士官學校幹事 同 男 淺田 良逸
參謀本部第三部長 同 厚東篤太郎
第三師團司令部附 同 ・ 稲葉 四郎
工科學校長 同 四王天延孝
任陸軍中將（各通） 同 上村 良助
步兵第十二旅團長 步大佐 長谷川岡太郎
同第七十五聯隊長 同 久我正二郎
教育總監部第一課長 同 西尾 壽造
第四師團參謀長 同 鈴木 ……

步兵第二十九聯隊長 同 上野 四郎
陸軍省恩賞課長 同 中村 濱作
步兵第十一聯隊長 同 山本 芳輔
教育總監部第二課長 同 角田政之助
旭川聯隊區司令官 同 山田 政一
陸軍大學校兵學教官 同 鈴木 美通
步兵第六十八聯隊長 同 石坂 弘毅
陸軍省補任課長 同 沖 直道
參謀本部附 同 佐藤 三郎
第十九師團參謀長 同 大家德一郎
步兵第十六聯隊長 同 中島 良雄
參謀本部課長 同 兒玉 友雄
第八師團參謀長 同 篠原 四郎
陸軍戶山學校長 同 武田 秀一
步兵第四聯隊長 同 高城 莊吉
第六師團參謀長 同 黑田 周二
臺灣步兵第二聯隊長 同 二宮 久二
步兵第三十四聯隊長 同 竹下 國國
步兵第四十八聯隊長 同 古賀 傳太
步兵第四十八聯隊長 同 ・ 新山 國治
步兵七十七聯隊長 同 野田 三藏
朝鮮軍司令部附 同 男 西四辻公堯
步兵第二十五聯隊長 同 櫻井 貫一
第十師團參謀長 騎大佐 武藤 一彥
野戰重砲兵第三聯隊 砲大佐 小野 茂幸
東京工廠長 同 小網津正敏
兵器本廠附 同 桑村 乙二
陸軍省銃砲課長 同 植村 東彥
陸地測量部三角科長 工大佐 菅柳 和夫
築城部對馬支部長 同 渡邊 良
技術本部々員 同 加藤 鎭二
工兵第三大隊長 同 中村 良雄
工兵學校教育部長 同 上村 友見
工兵第二十大隊長 同 川野 傳一
鐵道第一聯隊長 同 梅戶 鎭
航空本部第一課長 航大佐 堀 丈夫
飛行第一大隊長 同 朝倉 亨
飛行第十六大隊長 同 牛田國五郎
任陸軍少將（各通）
第十二師團軍醫部長 一等軍醫正 田島耕十郎
陸軍省醫務課長 同 弘岡 道明
關東軍軍醫部長 同 風友 國
任軍醫監（各通）

勇退の部

大將 岸本鹿太郎
第三師團長 中將 安滿 欽一
第十四師團長 同 宮地久壽馬
第十九師團長 同 渡邊 壽
第六師團長 同 福田 彥助
工兵監 中將 佐藤 信
第三師團司令部附 同 ……
東京警備司令官 中將 島谷 章
同 齋藤 恒
由良要塞司令 同 杉浦 光二
同 大村 齊
同 松井 服三
同 水町 竹三
同 服部 眞彥

待命被仰付（各通）

第六師團司令部附 同 四王天延孝
同 上村 良助
中將 中島 虎吉
運輸部附 中將 秋月 胤逸
自動車學校長 同 唐原 與次
少將 上野 西郎
同 末松 俊造
同 山本 芳輔
同 山田 政一
同 芦川 良治
同 高城 莊吉
同 竹下 國國
同 新山 國治
同 野田 三藏
同 中村 良雄
同 川野 傳一
同 渡邊 辰

異動總數 實に五千名
未曾有の陸軍大異動

【東京電報】今次の陸軍大異動は異動總數約五千名に達し、進級者千五十名、職務轉換三千百名で未曾有の大異動である。待命は大將二名、中將十三名、少將同相當官約三十名、大佐同相當官五十二名、其他將官百二十名であり、進級は大將二、中將同相當官二十一、少將同相當…

朝鮮部隊（軍司令部の發表）

軍司令部

司令官更迭
朝鮮軍司令官 陸軍大將 金谷 範三
補軍事參議官 南 次郎
補朝鮮軍司令官

進級

任中將 少將 寺內 壽一
任少將 步大佐 西四辻公堯
任步少佐 步大尉 高橋 嘉一

轉出

朝鮮軍參謀長 中將 寺內 壽一
補臺灣守備隊司令官
補陸軍省兵器局課員 朝鮮軍司令部附步少佐 長谷川美代次
補近步二附 朝鮮軍副官步少佐 高橋 嘉一
補一經理部員 朝倉長一主正 渡邊豐三郎
補十一經理部員 朝鮮軍經理部員一主 新居 與八
補造兵本廠員 朝倉附一主 山本 省三
補千葉兵器支廠員 同二主 久保 新二
補電一附 同 同 湯川 浩

轉入

任步中佐（各通） 步大尉 菊地信市郎
同 大島 幾
任步兵少佐（各通） 步中尉 淺野鐵太郎
同 茂木 政雄
同 島田森之助
任步兵大尉（各通） 同 太田 操輔
任砲中佐（各通） 砲少佐 田中 國康

補步四〇附 步七三附步中佐 古思 了
補麻布聯區部員 步七四長步大佐 岡部和一郎
補教育總監部第一課員 步七四大隊長步少佐 內野 昻二
一九師司附步中佐 弘綱良之助

十九師團

進級

任少將（各通） 步大佐 大家德一郎
同 久我正二郎
任步大佐（各通） 步中佐 村上 讓正
同 中原 八郎
任步中佐（各通） 步少佐 古思 了
同 內野 昻二
任步兵少佐（各通） 同 弘綱良之助

補朝鮮軍參謀長 步兵三九旅長少將 中村孝太郎
補朝鮮軍司令部附 二十師團副官步大佐 吉村 顯利
補朝鮮軍部員 步八附參謀步大尉 河邊 運
補朝鮮軍部附 被本附一主正 根岸 熙
補朝倉長 被本附一主 秋田 銀一
補朝鮮軍經理部員 步一附一主 小泉 德一
被本員二主 伊谷 貞治
補朝倉附 一部員二主 山本 則敏

任砲少佐 砲大尉 岩元 定一
任二主 三主 林 重雄
任一等 一等 堀江 季虎
同 品田 芳夫
同 宮崎 貞一
任三等正（各通） 二等 久保田正治
任一等 二等 下河邊剛一

待命

一九師參謀長少將 大家德一郎
步七五長同 久我正二郎
步七三附步大佐 中原 八郎
步七四附步少佐 船江源三郎
步七三附步少佐 菊地信市郎
步七五附步少佐 松浦金之助
工一九長工大佐 村上 正路
一衞病長一等正 高橋 盛登
一九師獸部長一獸正 內田喜代松

待命被仰付（各通）

異動（摘出）

轉出

一九師司附步中佐 弘綱良之助

時事小言

愚衲親鸞

親鸞上人が日蓮上人と冥途で出會に及んで喧嘩していふ事には『近頃、迷妄の人達は此の親鸞を大聖だとか、聖人とか呼び立て、厚くるしい金箔を塗り付けるので甚だ迷惑して居る、拙僧は全く一介の愚衲なることを自分でよく知つて居る。大聖などとは以ての外、拙僧は畏れ多いどと言はれては御困りで御座らう、正受老人や、白隱和尚が何時まで和尚や老人で通つて居るのは拙僧の罪り、一介の愚衲、それで濟む、それ以上は迷惑ぢや』と日蓮に口く『その通り〳〵』

◇

一介の愚衲たることを自認し告白し宣揚して憚らざる親鸞上人の謙虚せる正直振りを、近頃流行の自家宣傳家の眼から見たら底の知れぬ大馬鹿者と見えるかも知れない。自惚とアバタを錦り隠すが如き巧妙なる粉飾を施こして自己を飾らんとする寶名家と、愚衲の二字を自己の代名詞ならしめたる親鸞とはその巧拙において事態の術に合けないほどの差異があるかも知れないけれども愚衲なることを自認したる所が、即ち親鸞の聖僧たる所以で、世上の愚僧猿說などは寡より眼中になかつた、日蓮も同様であらう、此點においても日蓮上人が若し日蓮上人がければならぬ

『愚衲は蓮』と言は近かつたとすればそれは甚し言ひ忘れたのだ。

◇

愚と聖と、多くの場合において隣り合せである。往々にして同一家であり、時としては同體である。少なくとも功利主義の世渡り術から見れば、多くの哲人聖者は、手に合はざる愚者にあらずんば途撤もなき大馬鹿者だ、けれども、功利主義者、自家宣傳家が利巧であつて哲人聖者が眞に愚であるか否か、誰も此邊でチョット考へて見たくなるだらう、いや、別に考へて見るにも及ばぬ事だ、詭辯と詐術と發惑の亂舞場では、コッテリと妖女の如く厚化粧すること

が必要で、自己の愚を告白するが如きは大禁物だ、けれどもかうした亂舞場の外に眞の正しき世界のあるとも忘れてはならぬ其處では何人も先づ自己の愚を知らねばならぬ、何となれば愚を知ることによつて始めて聖智の眼が開けるからだ。

◇

始つた露支交渉
前途暗澹を思はす
激論十一時間の第一回交渉
何等意見纏らず

【滿洲里三十一日發電】三十日夜十二時より開かれた露支代表會議は激論實に十一時間に亘り今朝十一時半に至り露西亞代表メリニコフ氏はダウリヤに支那代表は滿洲里に引返し本國政府にそれぞれ經過を報告したが、滿洲里に於ける會議は睡眠不足の目をこすりながら徹頭徹尾したが何等具體的に纏まつたものなく調停交渉を重ねると語り、前途暗澹たる面持で支那軍司令部に入つた

露國俄然 强硬に出づ
支那側何の策か 先づ讓步的に出る

【哈爾賓卅一日發電】昨夜十二時より支露兩國代表の會議が滿洲里にて開かれたメリニコフ、蔡運升兩代表の會見において露國側は東鐵の運營は列國に干渉の口實を與ふるものであるから速に此の事を一掃せしめたく東鐵問題の前途に就ては支那に關するの用意あり、東鐵管理局長以下ロシア人事等も速かに遡

な人物を任命して派遣されたし、支那は東鐵を買收又は奪取せんとするものでなく唯ロシアの對支赤化宣傳を恐れるのみである

と讓步的態度に出でたが、これに對しメリニコフ氏は支那がロシアの赤化宣傳を口實に武力を以て東鐵協定を無視し東鐵回收を無視する行動に出づるに於てはロシアが如何

なる人物を東鐵に派遣しても圓滿に鐵道業務に從事すること見らる

東鐵回收の 否認は化の皮
支那の最終目的は 管理權の收回でなくてはならぬ

【北平卅一日發電】露支直接交渉においての支那側の態度は如何に折れたとはいへあくまで東鐵理事の實權を握らんとするので、露國側は絕對的態度よりも東鐵を把握し東鐵局支那人職員の權限を擴大し管理權の收回を最終目的として東鐵の回收を否認し監督に

定および露國側協定に準據するにおいては香港協定を破棄して新協定を提議するものと認識するなは國民政府內部ではロシアの出方如何によつてはこれを斷然すべき評議も進められてをると

馬賊を使嗾して 支那を脅かす
勞農政府の魂膽

【ハルビン卅一日發電】露國側はブラゴエチエンスク方面の支那馬賊千數百名を使嗾して支那側を脅かさんとしてゐるので支那官憲は警備手薄の折柄頗る恐慌を來してゐる、なほ同地方の露軍は時時威嚇的に發砲してゐるが右は國境より武力を以て支那を威壓し滿洲里における露支和平會議を有利に展開せんとするロシアの魂膽と

は出來ない、從つて總ての交渉は支那の態度如何に依つて進められるであらうと前回をひるがへし極めて强硬な態度に出で議論を紛糾した

二十師團

進級

任少將（各通） 步大佐 野田 三藏
工大佐 川野 傳一

渡邊師團長の待命

親補官で軍司令部からは發表されず

軍司令部發表の分には親補職の師團長渡邊第十九師團長の待命が發表してないが、右につき軍部では親補職の待命その他の辭令は軍司令部を經由せず直接に通達されるもので渡邊師團長の待命は確實であると

學校配屬

東北帝國大學 步七三步大佐 村上 讓正

補步二九附 步七六附步中佐 小松 康高
補步三附 砲二五大隊中佐 太田 操輔

轉入

補山十一附 步一五長步大佐 藤田 ……
補一九師參謀長 步一附管山部隊服部步中佐 橋本 清大
補步七三附 步九附同 奥村 勵
同 三師司附步大佐 佐伯 國重
補步七四長 十四師司附步中佐 飯島 茂
補步七四附 第二師司附東北帝大配屬步大佐 野口 純一
補步七五長 陸軍歩兵學校部員步中佐 井原 ……
補步七五附 第六師司附步中佐 中原 政次
補步七六附 工七附工中佐 佐藤 高安
補工一九長

任步大佐 步中佐 吉村 顯利
任步中佐 步少佐 奧川 勝吉
任砲中佐 砲少佐 向野 順三
任步少佐（各通） 步大尉 紅露 和平
同 有馬 純彥
同 園田 賢一
同 坂本吉太郎
同 松田 元治
同 前山 ……
同 中尾 小六
同 石光 憲弌
同 佐藤 中七
任步大尉（各通） 步中尉 松田農兵衞
同 太田 清一
同 木村 勝造
同 山崎米代臣
任砲少佐 砲大尉 小林 良策
任工少佐 工大尉 志賀 又雄
任航少佐 航大尉 大塚 寅雄
任三監正 三監正 平野 林
任二監正 二監正 越川 彰
任一監正 一監 吉田 平一
任三監正 二監 國井 ……
任一監 二監 柴野 ……

待命

步七七長 少將 野田 三藏
工二〇長同 川野 傳一
步八〇附步少佐 湯川 勝吉
野砲二六大隊中佐 向野 順三
第二〇師經部員二〇主 國元 早苗

待命被仰付

異動（摘出）

轉出

補朝鮮軍參謀長 步三九旅長少將 中村孝太郎
補朝鮮軍司令部附 二十師副官步大佐 吉村 顯利
補朝鮮軍司令部附二十師參謀步少佐 谷口 昇朗

轉入

補步六大長 步四十旅副步少佐 平井 亮助
補步第十九大長 步七八附步少佐 大岩 ……
補步十五大長 步七九附步中佐 佐藤 吉雄
補教育總監部副官 步八〇大附步少佐 池の上賢吉
補陸大教官 騎二八長騎中佐 久納 誠一
補工科學校教官 砲山重長砲大佐 八木原太郎作
補航空本部部員 飛六附航中佐 相良千代松
補下志津飛校教官 飛六附航少佐 大塚 貞雄
補第二十師司附（各通） 技術本部附兼人員步少佐 市川 洋造
補步七八附 部隊監督部長步大佐 松田 四郎
補二十師參謀 步五十大長步少佐 倉永 辰治
補步七九附 參謀本部第一課長步少佐 西尾 壽造
補步七八附 步三一附步中佐 原田宗二郎
補步三九旅長 士一師司附步中佐 高田 三一
補砲二六長 技本附砲大佐 杉生 ……
補砲二六大長 士官校教官砲少佐 船引 正之
補山砲附 野十附砲中佐 堀 勇太郎
補工二十長 工兵監部員工中佐 大久保 ……

命課換

補二十師副官 二十師司附步中佐 佐藤八重五郎
補步七八附 步七八附步中佐 南雲親一郎
補步七九附 飛行材料廠長航中佐 島村 ……
補飛六附 步少佐 佐藤 正朗

靜岡縣立靜岡中學校 步少佐 中尾 小六
長崎縣立佐世保中學校 同 石光 憲弌
釜山第一商業學校 步中佐 陸山 忠吾
高知縣師範學校 步少佐 氏原 靜英
栃木縣 步大尉 西本 榮光
仁川南商業學校 步少佐 家所 政信
京城中學校 同 佐藤 中七
大田中學校 步大尉 田中 幸雄
群山中學校（砲二六）砲大佐 大內 取多
九州帝國大學校（步八〇）步少佐 久保田良一
京城師範學校（兵器本廠）步大尉 宇都 西郎
大邱中學校

火田放火の 事實なし
鍋口、鳥山兩調査員歸る
數日中に眞相發表

咸鏡南道甲山郡の火田放火事件については當局も非常にこれを重大視して其の眞相を調査中であつたが、成興營林署の調査によると多少强いて火田民を放火し營林署員が放火した事實は全然ないことが判明したが、營林署長および營林署員の報告も放火の事實なく、總督府としては右兩者の調査報告に十分自信は有してゐたが、この事件について特に山林部から關口事務官、警務局から鳥山屬の二氏が實地調査のため現地に出張したのでその調査報告を待つて爽して放火の事實なきか、又は世間に流布されてゐる事實に相違あるかの眞相を內外に發表するとになつてゐた所、が鍋口鳥山兩氏は八月一日朝歸城した、その報告によると全然營林署員が放火した事實なく、又鳥山氏の報告も同樣でこれを立證し放火の事實を否認された。これがため山林部では數日內に放火事件の眞相を發表して世間の誤解を解くことゝなり、目下關口事務官の手で發表案の起草中である

日米仲裁々判 近く改訂交渉か
出淵大使を通じて 米國の意向を質す

【東京電報】期限滿了となつた日米仲裁々判條約は日米兩國の國內的諸事情で一時交渉中絕の姿であつたが、政府は不戰條約も去る七月二十四日正式に成立したる際何等拘束力なき不戰條約のみでは聊か缺陷があるのでこれが細目協定する意味からでも至急仲裁々判條約の改訂をなしたいとの見地から、アメリカ政府の意向を質さしめ近く正式にこれが改訂交渉開始の運びとなすことゝなつたので、いよ〳〵日米間に再び仲裁々判條約の補足的意味をもつて締結せられるものと見られてゐる

外交內閣 として信任さる
佛國ブリアン內閣
臨時議會で信任案可決

【パリ卅一日發電】新たに成立したブリアン內閣は本日より臨時議會を召集し、その施政方針說明演說を下院において、又上院においてそれ〳〵新內閣の政策に關する聲明書を朗讀し特に外交問題に言及して『新內閣をして來たるべきヘーグの賠償本會議に於て三ケ月間一切の政爭を中止されたい』と要望し、次いで政府信任案投票を行つた結果百三十六票三百二十五の大多數で可決され、ここに新ブリアン內閣はまづその外交內閣としてスタートを切ると共に成功した

俠艷靈劍
（第四面に掲載）

報豫	氣	溫
晴 一 時 曇	正午 卅一日	最高 卅一日
	三〇三（二九）	三三（二九）

仁川干滿時（二日）
滿潮 午前一時五十五分 午後二時五分
干潮 午前八時四十五分 午後九時一分

あすの天氣（2）

高氣壓は本邦の南海上から本邦に擴がり其の先端は朝鮮に迄田し滿洲方面は氣壓が低い南鮮は晴れ其の他は曇つて北部には昨日小雨があつた、明日は天氣が良いが一時曇る

會

神宮參拜（三十一日）總數三九七人▲內地人三一九人▲朝鮮人七二人▲歐米人六人▲國體京城修養團三八人▲前年度總數七〇八人

江原水路氏歡迎會 朝鮮新聞主催にて一日午後七時より京城ホテルにて開催

人

◇佐安藤太郎氏（山口高商教授）▲長尾仟氏（平壤府電氣課長）▲成田鐵郎氏（平壤電興重役）一日入城安岡へ
◇直木倫太郎氏（工學博士）一日退城沙里院へ
◇横江重助氏（新義州營林署長）三十一日入城不知火旅館
◇宮崎国雄氏（朝鮮新聞支局長）▲福井游氏（殖銀鎭南浦支店長）一日入城不知火旅館へ
◇須藤素氏（慶南知事）一日歸任
◇松下芳三郎氏（咸南警察部長）一日朝入城朝鮮ホテルへ
◇藤波卿一氏（濟州警察署長）▲佐藤作氏（朝鮮水電技師）一日入城朝鮮ホテルへ
◇江見水蔭氏（文士）講演の爲め大原利武氏同道一日本社來訪
◇住井辰男氏（三井支店長）二週間豫定にて二十日夜歸浦へ出張

巡査に毆られて？ 雇ひ人の怪死

無燈自轉車のたゝりで 或はモヒで急死か

警察の民衆化がとなへられる折から京城の中樞を握る本町二丁目交番所一巡査が無燈にて疾走中の自轉車を呼び留め種々問答の末顏面を毆りつけ遂に死に到らしめたのではないかといふ奇怪な不祥事が突發した

三十一日午後十時すぎ府内鍾路町百十二番地、齒山町二丁目大暾方雇ひ人朱寛燮が用事を了へて歸宅の途中無燈の自轉車にのり本町二丁目都屋前に差かゝつた際巡邏中の本町二丁目派出所勤務村世文巡査に發見され下車を命ぜられ職務行の上毆打された上歸宅を許されたといふが約一時を經て急に頭部が痛みだし附近の醫生李某に診察を求めた處すでに人事不省に陷つて居るので西小門町田中丸病院にかつぎ込み手當を加へたが一日午前四時遂に死亡した。届出でにより所轄西大門署にては樋口司法主任以下田中丸病院にいたり檢視をなすと共に本町署に通知して秘密裡に村巡査について嚴重取調べ中である

解剖せねば斷定は出來ぬ 死因に疑ひがあると 田中丸病院長語る

被害者に手當をした田中丸病院長は語る

昨夜十一時頃突然人事不省になつてゐる患者を運び込んで來たのでどうしたのかと聞くと顏面を毆打されたとの事ですから早く調べたのですが、何しろ人事不省になつて居るので直に手當てを加へたが午前四時頃遂に死亡しました、私の診察した處では毆打によるといふよりはモヒ中毒から來る腦充血の症状に思へましたが打撲からもこんな症状をおこすので解剖の上でなければ何とも申されません

悲嘆に暮れる妻女

被害者朱寛燮の妻金有恩女（廿二）は涙ながらに語る

主人は昨夜十一時頃ぷん〳〵怒りながら歸宅、本町で巡査に毆られたと申して居ましたが痛いものがないかといふので三十錢ばかり出すとそのまゝぷいと外に飛び出して鹿爪を買ひに行つたのですが、歸つて來た時は最早苛になり歩行も困難な状態なので大いに驚き附近の人の助けで、田中丸病院にかつぎ込んだのですが遂になくなりました、何が何だか解りません

毆打の事實は全然認めぬ 朴巡査も取調べたと 小松本町署長談

右に付き小松本町署長は語る

私も今聞いて驚いて村巡査について取調べた處、昨夜同巡査が無燈で疾走中なるを認め下車を命じて取調べたのは事實ですが毆打した等の事は全然ない又手當を加へた田中丸病院長もモヒ中毒であらうといつて居たし、檢査もなして疑ひないしそんな事實は全然ないよ

眞夏の夜の「レビュー」 不夜の歌

眠りを知らぬ 神宮參道情景

潮が退るころ、そしてゆるひ勾配の路面へ、行儀よく並んだ陳列のが、いぶし銀のやうなひとみを見開くころだ。

×

湯あがりのにほやかな肌に、中形や、ボイルの長袖襦袢か、團扇を片手に、フエルトを輕く踏んで通る。極羅紗服の朝鮮婦人が、ラッパズボンの鮮人と足どりもゆるやかに臆を語つて過ぎる。

×

かと思ふと、ほう歯の足駄で、ヤケにアスファルトの上を叩きながら。

ラッシュアワアで拾つたバラをせめてあの娘の思ひ出に……なんて唄ひながら……いや口笛鳴りながら裏參道の彼方へと消えてゆく若者がある。ハーモニカの甘いメロデー。

×

十時ごろともなれば、逍遙の人が織絲のやうに交錯する。正に出盛りの時である。その中を時々自動車が飛び交ふ。歩道には、半裸の人々が、蓙を持ち出して高らかに笑ひ興ずる。時々火の子が渦の中に亂れ飛ぶ。これは蚊の悪物に、火鉢をかける女房の集ひだ。

×

人がちる。歩道の樂天家が星を仰いで、露の行に迷惑するころ、エメラルドの空へつゞく、白い夢の石階が——神宮の階段が人影を絶つころ、自動車が盛んに往來する。ヒューと口笛が鳴る。ヨイショと掛聲、車内からは嬌声を擲した放送者が、得意の微笑を投げかけてゆく。

×

こんな自動車の手合、參道をくゞり過つて、晩餐の闇路に卅秒のストップを命じ、チラリ山の腹をに一瞥をくれて奬忠壇のあたりへ消えてゆくのが定石。

×

チリン、チリン鈴の音がする。涼しい音だ。ヒヨウとむちがうなり野菜などをどつさり積んだ牛が通るのだ、或は絡繹と、或は三々伍々を……。時計は正に深更二時を指すころだ。

×

人影が殖えて來る。聞かぬ人影が殖えて來る。話し聲が高くなる。南大門市場へ、蓙の塵を加へて來る。南大門市場目指すいはゆる野菜ヨボの階落が、早や神宮の隣におよんで、時を待つのだ。まだ深更三時といふのにお、雄々しい生活戰線への出動——なん堅坊な記者が感嘆したことである。

×

四時を過ぐるころには、黎明の氣がひえびえと動く。そして、やがて南大門のあたりと、京城驛前のカーブに電車のきしりが、甲高く響いて來る。

×

お、不夜の神宮參道——われらの納涼歩廊、われ等のベッド、本プラ健在なりや。（寫眞は表參道で火のしをかける女房連）

首相の放送は延期

【東京電話】濱口首相は一日東京放送局で全國に向つて放送することになつてゐたが、差支を生じたので來たる八日か九日頃放送することに變更した

東津輕の大火

【青森一日發電】青森縣東津輕郡蟹田村に二十一日夜大火あり燒失戸數七十七戸損害約五十萬圓

三拾餘箱に詰め込んだ考古資料の貴重品

雄基貝塚發掘の藤田氏一行 大收穫を得てきのう歸る

雄基貝塚發掘に從事した本府博物館の藤田、小泉、澤、田中の四氏は卅一日夜石油箱卅五個といふ莫大なる掘物を携へて歸城したが今回の發掘は非常に收穫多く特に人骨勾玉彩色土器の三種は世界的のとにり世界の學界に一つの研究資料を提供するものといはれてゐる、一行約一ケ月間發掘に從事しその間に百ケ十餘坪の貝塚を發掘し、卅五箱の出土品と數十枚の寫眞を撮影して來たが全部の發掘を終了するに到らず更に第二第三と數回に亘る調査を必要とすることになつてゐる右につき藤田囑託は左の如く語る

出土品は多く土器の出土した所から見て、さう古いものではなく精々二千年位前のものと思ふ、出土品中に七八人分に相當する人骨があり内三人分は殆ど完全である、從來内地の貝塚からは人骨が多數出てゐたが朝鮮の貝塚から人骨を發見したのは今回が

＝始め＝てある、特に三箇は殆と完全に近く原始人類の研究資料に貴重なる參考資料たるを失はず一大收穫だと喜んでゐる、彩陶土器も、これ又朝鮮としてははじめての出土でこの彩陶土器の出土により少くとも世界的に波紋を與へるのと思ふ從來支那の河南省あたりから出土する

＝彩色＝土器と南露およびダニューブ河の流域から出る彩色土器とが或る共通點であるとして西洋の考古學者は文化は歐州から東漸したものだといひ東洋の學者は何れも東洋から西漸したのだと西洋の學者に抗議してゐる、ところが河南の彩色土器と先年鳥居博士が廣州ヒシカ貝塚から出土した彩色土器とも又一つの共通點があり、ヒシカの出土品と今回の雄基でわれわれが發掘した彩陶土器とにもヘラで表面をなでてゐる所など同一手法であるこれ等の點より見て雄基の彩陶土器は確に

＝學界＝の研究資料たりうると思つてゐる勾玉も珍しいもので完全なものが一つ、缺けたものが一つ都合二つ出たが元來朝鮮の貝塚から勾玉の出たのは京城以南の南方貝塚に限られ京城以北の北方貝塚からははじめてである、南方貝塚は内地貝塚と殆ど同一でたゞ鏡を見ないことにおいて多少内地貝塚と趣をことにしてゐた位である、所が北方貝塚は純内地貝塚

＝種類＝をことにしてゐると從來出土品の上から觀察して來たが勾玉を北方貝塚から發見して見ると内地貝塚と同一出土品を見た譯で確に研究資料を一つ學界に増した譯である、いづれにしても今回の雄基は十分成果を收め得たからこれから出土品の研究整理をなし學界にこれを報告せなければならぬ

貝殼で包んだ若い女の遺骨 偉大な發見だと 一行の澤氏語る

貝塚は雄基の松坪洞、尚水洞の兩洞に亘り尚水洞をはさんで遺跡が一帶に横はつてゐる同所はかつて鳥井博士が調査の結果石器時代の遺跡であるといふ事で有名となり本府でも特に要存林として永久保存地帶としてあつたところであつたがたま〳〵今度鐵道開通に際し引込線を作る爲め自然同所の破壞さるゝを發掘することになつたものである貝塚の長さ約二十米突さへある石器時代の人骨は當時朝鮮ではいまだ見なかつたもので内三體だけは當時埋葬狀態がありありと殘り無味想ひ位ひであつた殊に小泉氏發掘した一體の如きは貝殼を以て全體を包被したるためか一段完全に人骨が殘り玉製の胸飾りをしてゐる勾玉や彩色を施した土器が殆ど死骸の頭部から出されたまま石斧や鏃などを頭部に置ひてある事が明から分つたしかも一體死骸の如きは若き婦人の遺骨と覺しく骨盤までがあり〳〵と殘されてあるその他原始一代の家畜ともいふべき動物の遺骨や骨器石器等取り交ぜ石油箱約三十餘個の發掘物だあつた殊に右貝塚の特異ともいふべき點は高山たけのものでなくて支那歐羅巴方面の特色をも具備しゐることで研究するものに取り極めて貴重なる資料を得た譯であるなほ偉大なる發見は石器時代の住居の跡三箇所を發見した綠色の玉製の勾玉やその他三千年前の住居の跡がまざ〳〵と發見されたことである

二人の辻强盜 府内のと同一犯人か

續々として起る强盜事件に鑑し本町署では去る十九日の楊州郡の怪盜は廿九日京城府南里揚口里方の角に逮捕されたのみで京城府東大門外警官内の强盜が未だ捕はれない、京城府南大門外の□□里揚州の角に二名の辻强盜あられ通行しかゝつた楊州郡廣州面新月里九七金萬基（五二）を短刀で脅し現金九十五圓を強奪した事件あり、同郡では非常線を張るとともに、道警察部に通告した

被害者楊州郡廣州面新月里九七金萬基（五二）は三十一日午前九時牛を賣りに京城府内に來り、同日午後八時頃牛を賣り拂ひ、楊州郡九里面上九里牛場付近の角に差しかかつた際突如附近側の草叢から洋服を着した二名の怪漢おどりいで一人は短刀をきしながら『今日牛を賣つた金を渡せ』と強迫し他の一人は金をねじふせ懐中から九十五圓を強奪し、京城方面に逃走したが犯行は頗る計畫的で二名の曲者は或は府内のそれと同一人ではないかと睨まれてゐる

金武烈 上告棄却 二審では死刑の判決

昨年春京畿道始興郡新東面三松里においての强盜千里を殺害して所持金を強奪した大邱府達城町居住の金武烈（二一）の殺人强盜事件はさきに第一審第二審とも死刑の判決がありたが不服を唱へ上告中のところ二日高等法院において小川裁判長により上告棄却の判決が言渡された、金武烈は判決とともにがつくりとうなだれ看守にまもられて退廷した

倫敦日本間 飛行路が開かん

【ロンドン卅一日發電】英國民間航空局長ブランカー氏が發表した處によれば英國は本月中露國附近を通過するロンドン日本間飛行路を開くことゝなるかも知れぬと

僞刑事のしくじり

本籍不詳住所不定無職金東錫（二二）は六月末頃京城から京城に來たり、刑事を裝ひ無智の者から金錢をまきあげゐたが三十一日午後五時二十分頃、往十里驛から乘車してのりあわせた黃海道延白郡銀川面玉山里百二十番地、船夫高龜鍛に『俺は龍山署の刑事だが、取調べることがあるから』と龍山驛で下車させ鐵道局裏にひつぱり込んで有金を取しようとしてゐる處を同局守衞に發見され追跡の末逮捕された目下龍山署で取調べ中

釜山のチフス下火

一時猖獗を極めた釜山の腸チフスも當局の豫防施設の完全と府民の注意により漸く下火となり卅日は八名卅一日は五名の新患者を發生したに過ぎず漸次發生數を減少しつゝある卅一日までの累計三百卅六名に達するがモウ大したことはなく當局も漸く安堵の胸をなでおろしてゐる、なほ釜山は朝鮮の玄關でもし蔓延ぶ京城まで猖獗を極めるにおいては内地からの朝鮮視察にも影響する所大なりと非常に心配されてゐたが先づこれで安心される譯である

愛人の病床へ 秋子さん訪る

我等のテナー藤原義江氏を慕つて遙々伊太利まで追ひかけて行つた元宮下醫學博士夫人、秋子さんは夫君藤原氏の帰朝後も伊太利ミラノにずつと滯在してゐたが突然きのふ神戸入港の白山丸で歸朝二十九日帰京して目下帝大病院に盲腸炎で入院中の藤原氏の下にかけつけ御覧の通りお熱い看護につとめてゐる（寫眞は病臥中の藤原氏と秋子さん）

テント村通信……第七日（卅一日）

村人よさらば 第一週は終へて 互ひに名殘りを惜む

松濤園におけるわが京日テント村の第一週はいよ〳〵けふで終つた七月廿六日以來一週間、百五十名の同志は、この綠澗にたむろして思ふ存分涼しい潮風に親み心ゆくまで海邊の生活を味つてけふ都に歸る。

◇

名殘を惜む村人は、午前八時國旗の下に集まつて解散の式を擧ぐ。實にに日燒けした顏が朝の陽光に曝されて生々として輝く。さやうなら、また來年こゝでお目にかゝりませうと親み深い挨拶が交される。キャンピング經驗の話は口々に囁はれ盡きぬ名殘りを惜む氣持がみなの顏に溢れてゐる。

◇

出發は夜の十一時だからけふ一日はこの村で過ごせる。村人は大した撤營具もないだけに、旅立は氣輕なものだ。手早く荷物をまとめて、海に飛込む。土用らしの日とて、海岸は早朝から數千の海水浴客が集まつて來る。最後の日に適しい賑かな光景である。

◇

三防、釋王寺に遊ぶ人達や、けふのうちに京城のお父さんお母さんの元に歸りつきたい子供さん達は、晝の汽車で先發する。お土産を買込む人達も元山驛まで見送りかたがた元山の町に出かける。

外で、突然として西の空に黑雲現れ、大部聲とゝもに驟雨沛然として來る。海には一人の姿もない。雨の來るも早かつたが、浴客の逃げ足の早いには驚いた。しかしわが村のテントは、第二週の人達の爲め張り替るべく大方取片付けてゐたから、雨の不意打ちにも大して驚かなかつた。夜の汽車を待つ人達も第二週に申込み人達も村役場の大廣間に集まつてテントに殘留として勤務して雨の晴れるのを待つ。

◇

雨はほんの人濕しであつた。一時間足らずで雲は北に去つてカラリと晴れ渡る。わが村は亞日の炎天をさかわき切つたところを、明日第二週に來村する村人のために奇麗に掃除めらるる感あり、雨が大掃除をやつてくれたやうなものだいけんや、一雨來つて天は再び拭はる『これでまた後十日は好天氣續き』といふ海の樂師の言葉通りにゆけば第二週の村人はまづ天候の危惧はあるまいから、けふの雨はむしろ慈雨といつていゝ

◇

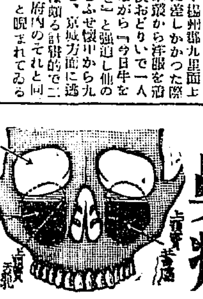
第二週に殘る人達三十余名、今夜は急にさびしくなつたのでみんな村役場に集まつて雑談に花を咲かせたり明日新に來村する人たちを歡迎するために、新しく工夫した村の周りを熱心に稽古してゐる。明日は早朝百數十名の人たちが逞しく賑やかに村入りをすることであらう出發萬歳とゝのつてゐる。かくて第二週のテント村は第一週にもまして繁榮することであらう

村役場から

松濤園のわがテント村第一週もいよ〳〵けふで終りました。御不都の點、不行屆の點も多かつたことと思ひますが此點はおわびで申します第二週はまた明日から初ります。京城に歸りになつてからこの松濤園の情景を胸に浮べて都の暑さを忘れて下さい。來年はまた更に愉快にこの地でお目にかゝりませう。

福引景品寄贈

一、三中井商店タオル一打
一、明治屋ツルチユウ二合入一打
一、飯山商店クレープシャツ二枚
一、双合商店タオル一打
一、池田藥店タオル一打
一、石田藥店上等石鹸小九個
一、拝屋時計店上等置時計一個
一、吉乃屋雷箱、大箱、雷箱



「來れ」 鼻病の難症
治療をしても再發した人 種々藥を飲んでも治らぬ人 鼻病の爲め成績の惡い學生
不具や白痴になる 蓄膿症と肥厚性鼻炎を 切らずに治す藥療法
東京市芝區南佐久間町二ノ十八 報知堂藥品部 電話芝二八四九

贊化病院 京城府明治町一丁目 電話本局二四〇番
醫學博士 古城憲治
内科 小兒科 入院隨意 普通病室及傳染病室

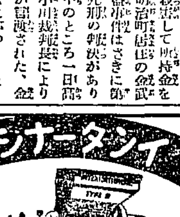
朝鮮名物で内地みやげは 風俗せんべい 三越 明治屋 大和軒

宮内省御用達 クリスタル 天然タンサン水 天然サイダー 中原商會

勉学運動 執務旅行の 最適藥 外用活力素 キコー 最新御家庭常備藥 効能卓絶高貴藥
各地有名藥店にて有り 京城本町 金冠堂謹製 振替口座京城二四五番

月やく下し藥を買ふ人は先 産兒制限 東京巣鴨 竹田律あさ

鮮産第一 芳醇無比 鮮鶴
株式會社 増田屋商店 仁川・京城



インターナショナル籾摺機 午号発売
日本總代理店 合資會社 泰明商會 京城府黄金町
B型六吋 C型六吋 新入荷在庫豊富

皮膚泌尿花柳病 醫學博士 渡邊晋 京城黄金町入口 日本生命裏 診察 十二時半マデ及ビ夕刻

小鳥動物鳥籠餌 京城府明治町二丁目 牧野小鳥店 電本三五〇八番 振京一二三八番

健康長壽の素 脚氣卓効 純良 米胚芽 一二五瓦入 一、五〇 各地有名藥店食品店にあり

驚く可き偉効を奏する オゾン治療注射及び吸入
適應症 肺結核・氣管支炎・肺炎・肋膜・腹膜炎・ぜんそく・胃腸炎・バセドー氏病・神經痛・睾丸炎・痔・肛門病一切・淋疾・婦人病一切・るいれき・眼病・蓄膿症・心臟病・脊髓病・カリエス・赤痢・疫痢・中風症・血管硬化症・モヒ中毒・其他大概四五回で全治
期間向フ三週間 南大門通二丁目南側 附屬オゾン診療所

標準時計賣出し 白金腕卷時計 八型六十三円 九型六十五円 京城本町 村木時計店 電本四 廿二番

朝鮮視察遊覽會創立事務所
◎本會所用京城案内人 内鮮男子 （甲）中等學校卒業者、判任官有資格者 約五十名 （乙）右以外 約五十名
◎外務員内鮮男女 若干名

移轉開業
從來本町二丁目に於て開業中の所、今回左記へ醫院新築移轉、從前の通り診療に從事可仕候
八月一日
本町四丁目（郵便所前入）
河内齒科醫院
齒科醫 河内一宗
電本三九五八番

世に出でた蝀龍窟

平北寧邊の世界的鍾乳洞

崔完奎氏の報告【二】

本洞は多數の支洞ありて天上洞、士靈洞等その幾多を探求し得ざるもの多く本洞は一四六三米なるも今日まできはめ得られたる範圍は本支洞を合せ五、〇〇〇米を超へ洞內を詳細に調査するには優に一週日をもなほ足らざるも普通の觀覽者は本洞なる洞口より一四六三米ある金剛洞の先を終點とすべきにより觀覽時間五六時間を以てこの地下金剛山の稀ある奇勝を觀賞しうべく洞內には、いたる所に山あり湖あり瀑あり塔ありて奇觀壯觀應接まりなく歩を進むる毎に興味津々たり、その概要左の如し。

本洞は長白山脈の西端にして龍門山の下に當り洞口は海拔三七八尺の所にありて洞口附近は樹木にて蔽われ洞口には一〇米余の山腹ありて遠くよりも其洞口なるを知りうべし。洞口は高さ一米半位の形を成し洞床は漸次傾斜をなし延長すると三〇米にて洞口を塞ぎし石段あり、明治卅七八年頃および卅七八年戰役に避難民等が他の侵入をおそれ石にて洞口をふさぎたるものにしてそこを進めば暗冷は增し洞穴は益々擴大し歩を進むる毎に明媚を加ふ、洞口より八三米を進めば一〇米余の斷崖あり昨秋鄉大典記念事業として當年會および當局の手により梯子を架し上下を便にす、この絶壁をドれば約八百余坪におよぶ大廣間が展開され天井は高く洞床は諸所に石筍林立突起し聳ゆる壯觀は言語に絶し訪客をして恍惚として一種異樣な感激に胸が塞がるが如くして開かれ難い心になり世界の總ては忘らるゝのであるよつて洗心洞と名附けたり。洞の左右および前方に三四の洞口ありてその右は石燈洞に前面は安眠洞を經て鍾聲洞に至り左は一〇米余の巨壁を有する大穴ありこの鍾洞に至る入口にして石筍三米余のものありて恰も洞口を守る衛兵の如く暗中に白き姿を輝かしながら訪客を一々謁ぶるが如し、歩を進むるに從ひ洞穴は益々擴大し鍾乳石懸垂し洞床よりは石筍あすここゝに散在してこれ又壯觀なり

天井より懸垂せる鍾乳石と上下相

なほ洞口より一五〇米を進めばその壯觀中の壯觀にして實に金剛山の一萬二千峰を目にせるが如くその鍾乳石は口舌に盡くし難しこれ鍾乳洞なり、高さ一五米洞床百二十坪あり

練兵場 鍾乳洞より一〇米を進めば百余坪の平坦なる地に至るこれ練兵場にして實に壯觀の觀を成し得べきにより古よりこの稱あり

統軍臺 練兵場の東端に高さ五米余りの岩ありてその頂上は二坪余廣く眼下に練兵場を見るべしよつて統軍臺又は閲兵臺といふ

洗心塘 練兵場よりすゝむこと十米余の處にありて五坪余の小池なり水深平均三尺余あり淸水をたゝへ洞內最初の池とて訪客皆喜びて飲む(寫眞は佛遊洞)

姓名の研究……三

三國派姓名學研究會朝鮮支部 谷川堯山(稿)

如何なる職業に如何なる姓名が適するが、その姓名文字は皆人の運命に如何なる影響をおよぼすかといふ理論、およびその應用法に至つては限りある紙面をもつて到底述べ盡くすことは不可能であるからこゝにはほんのその概略を述べることにする。

前述の如くわれ〳〵の姓名はわれ〳〵の活動の先驅を勤めるに適當なものでなければならないのであるから姓名としての眼識ともいふべき字義に最も重きを置かねばならないのである、即ち第一に語調よく姓と名と調和せねばならない、二には響壯にしてかつ迷濛を避くべく、三には宏大にして嚴正であり、四には秀麗優美で人の心をひくといふ條件の一つに該當しなければならないのである、しかし如何に響壯なるを可とするも實業家に對して大山巌等の姓名は全くその眼目を誤つたのであつてその點は余程注意を要するのである。讀者のため左の統計を揭げて見ると

實業家にして一方の重鎭として社會より認められて居る千名に對する名の留字(名の全部を擧げるは現存の人物に付き憚る)

留字	人員	留字	人員	留字	人員
郎	一六二	吉	一〇三	之助	二二
兵衛	八〇	藏	五三	左衛門	三六
右衛門	六二	助	四〇	平	二七
造	三七	作	二九	治	一六

その他百十五種に對する二百十三名にしてこれによつてこれを見るときは實業家としては、何郎、何々郎を以て最も適するものとし兵衛、右衛門、吉を以てこれに次ぐものとする。これと同時に一種モダーンネームの如何に強調なるかを立證することが出來るのである一方文官武官學者等の留字を見るに實業家と反對に郎を以て最適とし藏、雄、吉、之、義、一、平、正等これにつぐのである、ゆゑに郎、平、吉等は職業の如何を問はずいづれにも適するを證明しうるも、その他は皆それ〴〵その特色を發揮してゐるのである。

かくして名の留字は確定を見たるも姓字の選定に至りては之より以上の注意を拂はねばならぬのである、即ち姓字はその一字を以て意義が姓名全部におよぶものであるからその意義をよく〳〵調べ姓に調和するか否かを確め然もその意義が前記條項の一つに該當するものを選定しなければならないのである、例へば

武田晴信 語調に遜色がある、入道して信玄となつたが其の語調は比較にならない程よくなつて來て居る

上杉輝虎 前者同樣語調遜色である、之れも入道して謙信となつたが輝虎と比較して雲泥の差がある

兩者共に戰國時代に覇を爭うて屈らなかつた、これは信玄となり謙信となつてからのことである

この外姓名の具備條件としては字畫あり、天地の配列あり、陰陽あり、姓名八體あり、文字の表裏あり、なほ細に入りては字靈あり、數靈ありてその全部の條件に姓名を合致せしめんとするときは全く至難とするところであらう、これ等の各條件につきても一々理論的に說明したいのであるが紙面の都合で割愛しなければならないのは殘念であるが、いづれ機を見て發表することゝし要するに姓名はその語調と意義のよいのが第一條件であつて字畫その他は內面にひそにあつて運氣をつかさどるものであるといつても差支ないのである。しかも時により內面に潛む此運氣も外部に現れて人の運命を支配することがあるから矢張り一應は専門家の鑑定を受けて置く必要があると思ふ(谷川堯山師は何時にても無料にて鑑定に應ずる由記者附記)

このごろの逗子海岸

臺所や食堂等改善すべき點

臺所は土間無しに 便所は窓等に注意

日本では一たい居間だけは立派にしますが、臺所とか、便所などには余り注意がはらはれてゐないのはよくない事であります

そこで新築される場合の參考として臺所と食堂、および便所設計についての注意を記しませう。

台所 ――土間を設けるのは不潔になる基であります。それは御用聞きなどの土足でよごれやすいからです。小窓から用を足してもらふ樣にする、また內玄關か勝手口を使用するがよいのです。そして床の高さは他の部屋と同じ高さにこしらへますあげ板を設けるにも內部をコンクリートで固めて完全に塵よけをするがよいと思はれます。臺所の面積は百坪內外の家でも四疊半以內で充分ですそして食堂との間にハッチを設けてどつちからでも入りやすい樣にするが便利です、換氣をよくする事、濕氣を防ぐにする事も考へなければなりません

食堂 中流住宅でも居間の一隅にアルコップを設け、そこを食堂としたり、簡單に仕切られた部室として使用される樣にして置くがよいと思はれます、ハッチで臺所と通ずるやうにするのはさきに示した通りです、これは食事の時に大變便利です、天井は八尺五寸以上の高さにし、壁はサルブラまたはデッコの樣な壁紙を使用して、ふき掃除が出來る樣にして置くが理想的でせう。そして押入れは出來るだけ大きくこしらへたいものです。便所――一番理想的なのは西洋式がよいのですが、水洗式にするならば踏み式でも立派に出來ます。忘れてならないのは換氣と掃除を考へる事です。これは五寸以下でないと、惡臭の憂ひがあります。床をタイル張りとするが理想的です窓は細長の上下窓とし床から三尺五寸以上の部に設けなければなりません

セルやボーラの手入れ

白のセル、又はボーラー、或ひはアルパカなど夏の毛織物を洗濯する場合には質のよい洗濯石鹼を溫湯に溶かしたものに水を注いで微溫湯とし、その中で柔かに洗はなければなりません。若しこれ等の毛織物を洗ふのにもんだり絞つたりすると地質がちぢまります。このちゞまるのは毛が縮絨に縮が出來る爲に起るのでありますから…脆い・石鹼で洗つた時とかアイロンを燒きすぎた時などにちゞみます。若し白セルやボーラなどが黄色になつてしまひ易いものでありますが、それは適當な方法で晒さなければなりません。即ちハイドロサルハイドの粉をといてその中につけておよそ一時間位濕します。その分量は溫湯二升にハイドロサルハイドをスープのスプーンに一杯位入れたものを用ひますと、晒しの効果が多いものであります。これ等の藥品を使用する時には陶製の器具から子器へ又はおけ等を用ひなければなりません。鐵色のあるものを洗濯する時にはひどくないよごれのものはまづ水にひたして置いて洗濯液を裏返して布をのせてひろげ、ブラシにマルセール石鹼又は化粧石鹼の溶液をつけて靜かにやわらかにこすります

胡瓜の葵漬

▲材料―胡瓜、鹽、西洋芥子、味の素、水、醬油

▲漬方―長さ四五寸位の胡瓜を本を小口から厚さ一分位づゝを切り、鹽水に五分間もつけた後輕くしぼりあげます。大匙に三杯の西洋芥子を器にとり、小匙に半分の味の素と大匙に三杯の水と小匙に半分の醬油とを加へ能くかき混ぜ、この中へ前の胡瓜を十分間も漬けておいた所で漬物代りとして小皿に盛つて供します

映畫海外便り

パ社の秋季映畫

パラマウント社はトオキイに依る今秋の陣容を整へ、特作發聲映畫十七本餘の撮入を決定した、此の內には發端何れも無聲版を含むものと見られるが、何れにせよ今秋から來春へかけこのトオキイ增加傾向の一端を示して頗る賑やかなものがある。

フイルム式 發聲映畫

『愛情行進曲』ローヂヤース、ブライアン共演

『若い戀人』アーレン、ブライアン共演

『危險な女』(假名)クライブブルック、バクラノヴア

『間諜の秘密』H・B・ワーナー、ルス、チヤタートン

『だんまり役者』(同)ルス、チヤタートン、マーチ

『スタヂオ殺人事件』トリス、ヒル、N・ハミルトン共演

『罠』バンクロフト、アーレン、レイ共演

『新聞の紳士』(假名)ウオルター、ハストンカザリン、フランシス

『グリン家の慘劇』ルス、チヤタートン、ポウエル

『マグノリア』(假名)ローヂヤース、ロアリーブライアン、アーレン

『極どい曲線』(假名)ボウ

『本當の事ばかり』(假名)デイツス、ヘレン、ケーン

『人生の軍師』(假名)デイツクス、ラルストン

『流行の戀愛』(假名)マンヂユウ、コンプトン(レコード式發聲映畫)

『手紙』ジーン、イーグル、レヂナルド、オウエン

『鷲の穴』(假名)クローデツト、コルビート

同社は此の外ピ社が今秋での呼物たるメリアンクーパー、アーネスト、シユードサツク兩氏の監督せる『四枚の羽根』があるが、此れもサウンド、トオキーとして放送さるゝものと見られる。以上の作品中『スタヂオ殺人事件』外二三は既に追々封切されんとしてゐる。

ユ社の少壯監督

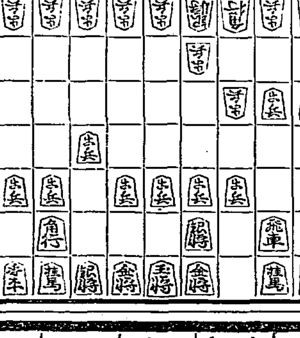
『君を尋ねて三千里』を監督して映畫界へ乘り出した少壯ウイリアム・ワイラー氏は、研究心最も強く一映畫の製作に就いても愼重に想を練つてからでなければメガホーンを採らないが最近ユニヴアーサル社へ到着した『假の期』に於ては、その演出手法の淸新さに於てはユニヴアとの賞讚を得たもので、前日への暗示は少なくとも今日の映畫の最前線を行くものであると言ふ。主役はキングヴイダー氏の『グラウンド』で認められたジエームス、ムーレー氏と『都會の哀愁』のバーバラケント嬢が演じ、ワイラー氏はこれに配するに一無名の小役ジヤック、ハロン君を擧げそれを陰柵に驅使して往年の『ソバカスバツー』を凌ぐ名子役としてゐる。期待すべきワイラー――の將來、同氏は今ローラ、ラ、プラトン嬢主演の『愛の陥穽』を完成した。

將棋新手合(一)

於東京市日本橋區蠣殻町一の四 將棋木村棋所

左香落 △四段 志澤春吉(東京) ▲二段 間宮純一(東京)

(圖は四八銀迄の局面)



持駒 △志澤氏 ナシ ▲間宮氏 ナシ

△三四歩 ▲七六歩 △四四歩 ▲二六歩 △三三角 ▲二五歩

△三二銀 ▲一六歩 △四三銀 ▲一五歩 △三五歩 ▲四八銀

△三四銀 ▲六八玉 △四二飛 ▲七八玉 △六二玉 ▲五八金右

△七二玉 ▲九六歩 △五二金左 ▲九五歩 (以下次號)

將谷木七段講評(上手)四二飛と振るのは、三四銀留め戰法のうちでも強く決戰を挑む手段で當今盛んに應用された手である(上手)敵の九筋に對し、五二金左と締めたのは賢明であらうが(下手)九五歩と、直に端の位を占めるのは至當の手段である

JODK プログラム

八月二日(金曜日)

午前一一、〇〇 氣象概況、各地天氣概況

同 一〇、三〇 料理獻立、コールドフキツシュとトマトサラダ 日用品値段

同 一一、〇〇 家庭講座(朝語)家庭に於ける婦人の衛生(二) 申弼浩

正午 時報、ニュース

午後〇、二〇 音樂(ヴイクター) ラヂオ學校『國語のおさらへ』 土居山洋

同 三、四五 ニュース、官廳公示事項

同 六、三〇 音樂(ヴイクター) 武勇童話『六十五才人力』 東京 江見水蔭

同 七、一〇 講演(朝語)少年の精神修養と肉體的訓練に就て 京城少年軍團長 李龍根

同 七、五〇 ニュース、官廳公示事項

同 八、〇〇 端唄と小唄 一、夕立 二、わしが國 三、夏の涼み 四、忍ぶ戀路 五、二上り新內其他 山崎樂子

管絃樂 一、シンプルアヴユ(トーメ) 二、マシヤコーネ(ドウランド) 三、シヤンソンルス(スミス) 四、インターメヅルス(フランケ) 指揮 大塔勇之助 京城管絃團

義太夫『朝顔日記宿屋之段』 淨瑠璃 高橋[illegible] 三味線 竹本[illegible]

同 九、三五 ラヂオ體操 岡本茂雄

同 九、五〇 翌日プログラム發表、氣象概況、各地天氣概況、ニユース、官廳公示事項(再放送)時報

同 一〇、二〇 短篇、和洋合奏 一、[illegible] 二、散新 三、念佛打令 四、雜歌其曲 [illegible]

健康長壽は人間願望の最大なるものである。此の願望の成就を欲はゞ、男女を問はず、老幼を論ぜず、まづカルピスを試みよ、天成醍醐の美味、眞珠の色澤、レモンの芳香、相まつて心身を爽快にし、疲れたる氣力の立ちどころに恢復するを覺えるだらう。食後一ぱいを用ひよ、整腸快通あやまたず。これぞ生命保全の鍵、メチニコフ博士の曰へる「長壽の秘訣」である。之を姙婦に與へよ、ツワリの苦を免れること神の如きものがあらう。更に產れる嬰兒の健かさに驚喜するであらう。常時これを愛飲せよ、腺病質がいつとはなしに强健の體質となり、髮膚つやつやしく、青春衰へず、永く若々しさを保つであらう。數千年來人類の經驗は之を肯定し、最新科學の研究は之を立證する。なほ試みに其の成分を見よ、(イ)骨組織の中堅たるカルシウム、(ロ)腸胃の病原菌を殺盡する乳酸、(ハ)活力を附與するヴイタミン、(ニ)體組織を作る蛋白質(ホ)動力となる諸種の糖類など其の主要部を成し自然の醱酵に惠まれて、渾然として調和す。而も之を飲用するに、人々その好みに應じて濃淡自在、盛暑には冷氷を浮べ、嚴寒には溫湯に和し、およそ七倍に溶かれる。即ち一壜よく七壜に當り、現代最も低廉なる滋强慰安飲料である

カルピス 滋强飲料

まだ伸びられる 鮮內の醤油界（四）

朝鮮醤油組合 山本 薫

その說明によつて如何なる利益をうるかは贅々を要せぬ處であらうが、今簡單にその一例をあげると

一、合同による資本の增加
二、資本の增加に伴ふ社會の信用
三、信用の增加による融通資金の容易
四、優良杜氏、優良技師招聘の容易
五、醸造器具及び設備の刷新
六、優良原料の購入が容易になり
七、大量生產の可能と品質改善の容易
八、一時の損失を顧みても資本醸造者の如き打擊の懸念ならざること

等そのうる處は個人的に既に會社的に頗る多大であると信ずる、猶さらに多數同業者が對立して相はむは業界を混亂せしむるのみならず、この際一致團結して業界を徹底せしむる方針を講ずべきである然るに從來醤油醸造業者方面には當局から種々保護されて以來さしたる注意を拂はず殆ど放任の形である、當局としても醤油醸造業者が課稅外におかれたる生產品なるがゆゑに自然施設指導を缺ぐべき機會の少くなつたことがその主たる原因ではあらうが、一面この醤油醸造業者をして自覺的に努力を促すが急でもあると思はれる、『ピン』から『キリ』まで官廳の御厄介にならねば何事も出來ない醤油業界のないものでもあるまい、この際一層奮勵して行詰れる鮮內醤油界の局面打開策を講ずべくしかもそれは目前に迫つて居る、今秋醤油の價格を引上げんとする醤油醸造業者組合を組織せんとし醤油醸造業者大會を開き斯界の先覺者の人々によつて熱心に研究されて居るのは斯界の爲めに喜ばしい次第である（完）

浦汐港は夏枯 貨物皆無で不況

露支國交關係復活の見込なきため浦鹽航路船は各社共に殺到し同港は貨物皆無の狀態である、しかし浦汐所在の支那人（外交官、須本領館等）等の引上げるものは續々浦鹽に集まり、これ等は浦鹽から元山、仁川等を經て芝罘、上海方面に歸るもの及び內地に渡るもの等で何れも朝鮮その他の便船に乘込むが、貨物が皆無のため殆ど採算のとれぬ航路を續けてゐる、一方鮮內にもモハヤ大した出荷もなく又工事の繼續等で工事材料の移入減少し、非常な夏枯狀態に見舞はれてゐるが配船が減少してゐるので際限の續には定期船の稼働は減少してゐない。

糸價補償法の朝鮮適用怪し その成行き注視さる

さきに第五十六議會に提出した糸價補償法案が通過して以來その施行の細則を進め、近く施行規則の發布を見た上九月一日から實施の豫定である。同法は生糸の價格が異常なる低落により製糸家の經營を危くするおそれある場合に於て生糸の製造又は加工をなす者に對し主務大臣の定める條件に從ひ、生糸を擔保として手形割引その他の方法により資金の融通をなす場合においてこれから生ずる銀行の損失を五ヶ年間に三千萬圓を限つて補償せんとするものであるが、右は農林省の意向では、特定銀行に限り、かつ適用を受ける生糸の範圍も內地の製糸工場により生產せられたものに限定する規則である。この農林省の方針によるときは朝鮮內に生產せられた生糸はこの恩典に浴せないこととなる譯である、こゝにおいて總督府當局はすでに數次にわたつて、適用の範圍を朝鮮にまで擴張して貰ひたいと希望してゐる譯であるが、果してこの希望が容れられてゐるかどうかは施行規則の發布を見ない以上明かでないが若し朝鮮を除外するとすれば朝鮮の製糸工場製品は橫濱、神戶の市場において金融を受ける場合の融資上より見れば朝鮮產生糸に不利な取扱ひを受けるほか、朝鮮內の製糸工場で製糸となつたものは受けられないといふ頗る不合理な結果に陥る譯である。この問題の成行きについては總督府をはじめ內地の製糸家はいづれも非常な注意を拂つてゐるが、若し朝鮮が除外されるとなれば朝鮮には同法に代るべき補償の方法を設けるの必要があらうとされてゐる

六月末の全鮮預金貸出

京城手形交換所調查、六月末現在全鮮各地組合銀行及組合銀行以外の銀行の預金貸出尻は左の如くで預金は五月末に比し三百九十六萬二千圓前年六月末に比し千八百四十三萬六千圓を各減少し貸出は五月末に比し百三十五萬二千圓前年六月末に比し九百九十一萬一千圓の各增加である（單位千圓）

種別	六月末現在	對五月末比較增減（△）
▲預金		
公金預金	一三,八〇	△八六
定期預金	一〇〇,〇三三	△二,四三六
當座同	三五,四〇一	一,三八一
特別當座	四〇,一六一	四〇三
通知預金	一八,一四三	一,三八二
別段同	六,九二七	三,六九九
其他	三,八二七	一二四
合計	二二八,四四四	三,九六〇
▲貸出		
年賦貸	一四六,二〇三	三,四四八
證書貸又は定期貸	三一,四九八	△三,一五一
手形貸	三七,〇八三	三,一七六
當座貸越	一〇,〇〇八	△三〇四
割引手形荷爲替手形	三三,七四〇	三六五
其他	四,三四〇	△三,五〇一
合計	二五九,三三六	一,四五三
金銀在高	一三,〇五五	四四七
預ケ金	一〇,四七〇	三,三三六
有價證券	二六,三三一	三,一四〇

因みに右六月末の預金貸出尻には前月又は前年同月に比し特に變つた現象はない、尚右表の外に東拓の外預金二百十一萬六千圓貸出六千八百八十一萬六千圓がある。

貯銀、成績良好 二千萬圓を突破

七月卅日現在、貯蓄銀行の總預金は二千萬圓を突破して二千一萬五千六百三十一圓となり七月一日の開業後一ヶ月に六十三萬圓の增加を示した、成績頗る良好と見られる

下旬出超激增す

【東京電報】大藏省發表、七月下旬に於ける主要十三港の對外貿易は輸出六千七百二十八萬二千圓輸入四千七百十六萬圓で差引出超二千十二萬二千圓と前年同期より千五百七十萬五千圓の出超增を告げた、之を前年同期に比較すれば輸出は五百三十四萬七千圓を增し輸入は千三十九萬八千圓を減少したがこれは生絲輸出の增進と棉花輸入の減退に依る處である、而して一月以降累計額は

	千圓
輸出	一、二〇三、四六四
輸入	一、四五八、六三四
計	二、六六二、〇九八
入超	二五五、一七〇

となり昨年より二千三百三千圓の入超增、一昨年より三千二百二十八萬一千圓の入超減である

昨年度の蠶業取締業績

昭和三年度各道蠶業取締所業務成績の概要は、蠶種製造者の免許現在數三百二十二名で原蠶種を製造するものなく普通蠶種を製造するもの二百九十七名の內春蠶期に於て製造するもの二百九十七名、夏秋蠶期に於て製造する者百六十二名である、是れを前年度に比すれば免許數二十五名增、春蠶期製造者六十一名減、夏秋蠶期製造者三名增を示した、蠶種製造用蠶兒の掃立蛾數は一萬五千四百四十六瓩七分で前年度に比し掃立蛾數三千六十二瓩二分增加、製造枚數普通蠶種四萬四千六百八十五枚、夏秋蠶種四萬二千九百三十六枚計九萬八千三百二十一枚を示した、尚檢查の結果は普通蠶種四萬七千八十枚計四萬七千五十二枚で、之れを前年度に比し原蠶種一千二百五十九枚、普通蠶種八萬八千三百四十九枚計八萬九千六百八枚の減少を示し、生繭取扱者數六百八十四名取扱場所數一千五ヶ所で、前年度に比し生繭取扱者數十六名を減じ場所數十九ヶ所の增加であつた

排日運動の下火で上海航路色めく こゝ當分持續の模樣

東支鐵道問題の紛糾で東支兩國の國交が斷絕と共に浦潮航路は全く閑散となつたが、これに反して上海方面は國民政府が東支問題を有利に展開せしめるの必要から對日の感情を緩和するに汲々として、國內の排日運動を取締り始めたため上海南京をはじめ長江沿岸各地の排日運動は表面的にはひそめるにいたつた。これがため我對支貿易は、にはかに好轉し、中支方面に對する綿糸布、雜貨その他の引合がはじまり、一齊に回復を見るに至つた。從つて郵船および大阪商船が上海方面をはじめ內地各地と上海方面の航路は急に色めきたち、非常な活況を呈するにいたつた。かくて、郵船の航路をはじめその他の社外船も上海航路に集中しなかんづく郵商の近海航路にトップまで行ふは東京北支南支航路に就航し得る狀況に至つた、この狀態は、東支問題が解決するまでは持續するものとみられてゐる

浦汐航の配船變更

浦潮航路は先に露支國交斷絕を報じ既に浦汐航路の整理のため遞信局の許可を受けてゐたが、いよ／＼現在浦潮航路就航の白山丸（二千二百噸）金剛山丸（二千二百噸）二隻のかわりに東京北鮮航路の遼東丸（一千三百噸）羅南丸（一千三百噸）二隻を配船することになり、遼東丸は八月七日の大阪發から羅南丸は八月廿日大阪發からいづれも浦潮航路に就航することに決定した、なほ其白山丸は東京北鮮航路に就航し金剛山丸はいづれに歸るか今のところ未定であるがかつ前記金剛山丸の如き大型を浦潮航路に通ずるのは不利で同航の持續をみることはあるまいと

砂糖共販の販賣人決定 朝鮮は四十一店

【下関電報】交渉中の鮮內砂糖販賣指定販賣先は左の如く四十一店に決定した

釜山五、大邱四、馬山二、大田二、木浦二、群山三、水原一、京城五、元山二、仁川二、平壤三、羅南二、咸興一、城津一、清津三、羅津一、會寧二

新販賣價格は販賣所に京城販賣價格を基準とし二十日迄に [illegible]

運送同盟會の交渉下準備

鮮運送同盟會では三十一日午後四時より同事務所において京仁交渉委員會合して聯合交渉開始に關する準備に取かゝつたが、當分協議會を開催することに決定した、なほ一日の協議には兩盟會總會式の日取りを決定するはずである

豆粕の特定運賃延長

滿洲及鮮內輸入の豆粕運賃はその特定が本年八月三十一日限りとなつて居るのを今回之を延長し昭和五年八月三十一日迄とした

各港の在米 ます／＼減少

最近鮮內各港の在米は漸次減少の傾向にあり、木浦の如きは在米がすでに皆無であるとさへ稱せられてゐるが、內地移出が殆ど見られないに拘らず各港在米が減少して行くといふのは全く奧地の需要に充當する目的で逆送さるゝからである。一體に本年は各地の米穀が早く出廻つて、および手持筋が品締りを續けて、減產地に搬出し過ぎた嫌があつたが、最近に至り、鮮內の米市場が品がすれとなるにつれて鮮內相場は內地に移出するより逆に高値となるに從つて、手持商は先高を見込んで端境期まで持越さうとする傾向が濃厚となり、一方奧地需要もあつてこの玄米はます／＼品がすれとなるといふ有樣で各港の在米は減少一方をたどるに至つた、かくて鮮內米の需給は非常な窮迫に陥るに至つたがこの現象はこゝ暫く緩和されさうにない

海外經濟電報

倫敦銀塊	二四片一六分五
紐育銀塊	五二仙八分五
英米爲替	四弗八六仙一六分五
對米爲替	四六弗一六分七
米棉	九十錢五
印棉	五十錢三三
スチール株	二一〇弗八分三
ナゴンダ株	一一四弗八分五

海外砂糖相場（一日） 倫敦 一志十片十六分三 紐育 四十六弗八分三 上海 七仙九角八分一

取引停止

[illegible]

穗落

▲最後の場面になつて委託取引人の關係を起こし一もんだの騒ぎを起こし寄付に決定しなかつた鮮內の砂糖がやつと決定したらしい▲閣出は內容よりも一層下落だといふ向きが出て來た▲三井物產では三品に對して賣出說ははだかだから心配無用お前さんといふ▲投入的の思惑さに加へて連日のてり込みと來たので▲鮮內の水稻は上々の出來ばえ▲然し中部から北鮮にかけて稻の病害を生じた地方もあり▲こゝ十日間も雨がないと恐らく枯死するだらうと心配されてゐる▲しかし雨は何でも適當にやつて來たら大したこともなからう▲かうなつて來ると今年は金融を通じて豐年じや福作じや

株式（一日）

寄高跡ダレ 結局保合

前場 三十一日後場不味の引先、今朝は貿易の出超激增や新甫高に刺戟されて阪地が一段高を示したため稍良好に寄付いたが、先に種々の不安材料が橫はつてゐる關係に伴ひ憎み結局保合つた、かくて昨後場止に比し大新、東新共に變らなかつた

依然味なく引際押す

後場 前場保合の折柄、後場も阪地の不冴を眺めて氣乘り薄く只東新一本の凡庸に初まり阪地の小弛みに結局下押した、かくて昨後場止に比し京取同東新一圓三十錢安であつた

夏枯れ愈深刻 出超も響かず

生絲輸出の增進と棉花輸入の減退で七月下旬貿易は遂に二千〇十二萬圓の出超を示しそれに加へて今朝新甫は高値に寄付したので買物現はれ相場一齊に昂騰すべき筈であるに拘はらず却つて金解禁の時機が接近しつゝあるもので一歩退いて考察すると今回は確認されたのであつて、もし又一方緊縮政策が徹底的に行はれる以上株價の本直りは望めず相場も跡は伸惱むと言ふ狀態である、併し一般に悲觀されて居る金解禁も出超も同時解決されるとも判斷せず殊に金融は依然緩漫を續けるから從良株に放資して來り從つて株式界に活況を生じないとも限らない、併しこれは硬派一部の考察であつて財界不況の折柄はたして投資して來るかは疑問であつてこの夏枯れ期のうちは依然不振を續けるものと觀測された

自動力無く 暫くは小浮動

出超激增、新甫一齊高等の好材料で今朝株式界は稍良好を示したが財界不況の折柄この好轉に向ふことは出來ず殊に株界の內的事情に於ても自動力はなく從つて八釜しい一新を來すが如き境に達してゐない、かくの如くなので高値には買物續かず依然警戒のうちに利喰的に賣物を需すも賣物方向多く相場は全く軟力なく此儘は夏枯れ期の深刻化を思はしめ暫くは矢張り同一範圍の浮沈を續けるものと觀て居た

人氣添はず 商內全く閑散

今朝は新甫高を眺めて阪地が一段 [illegible]

▲この大出超の原因は生絲輸出の增進と棉花輸入の減退によつたもので後場と同時に大引した▲何分財界不況の折柄株界が直に立直るといふことは期待出來ず殊に他力本願で動いてゐる株界だけにこの邊自身に動きも乏しい▲何にしても夏枯期だ思ひ切つた賣も出來ず、然し秋相場を眼前に控へて相當の注意だけは必要だ▲これを强氣にいはせると下げ餘地の乏しい結果だとある▲賣が弱氣は新米氣分で無茶苦茶な下鞘をつけない所にまた妙味があるのだといふ▲いづれにしても鞘といふ奴は人氣の反映であるから氣をつけて見る必要がある▲殊に十月限といへば前田稻作の豐凶が決定するまでの間相場を出すのだから相場は何らの間相の變化を敏活にとらへて一致が肝要だけは警戒すべきである

京取短期

銘柄		寄付	大引	高値	安値
京取	新前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
京取	新後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安取	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安取	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大株短期

銘柄		寄付	大引	高値	安値
大新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日商	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日商	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日魯	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日魯	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京現株

銘柄		銘柄	
株新	[illegible]	滿鐵	[illegible]
銀新	[illegible]	同新	[illegible]
新東	[illegible]	東拓	[illegible]
銀新	[illegible]	同新	[illegible]
新取	[illegible]	富士紡	[illegible]
新取	[illegible]	日石	[illegible]
		滿毛	[illegible]

期米（一日）

阪地安の爲 連節崩る

前場 今朝阪地の新甫は氣配通り中限より一圓十錢安下鞘の二十七圓六十七錢と發會せしも何分中限が前日の止値より二十錢高の寄付きと打ち續く旱天で當所は其割りに賣氣强く中限の如きは買方の狙ひは免れないので此趨勢で合せて新甫も二十九錢高に寄付從つて新甫も二十三圓九十錢と一圓九十錢の下鞘に生れ一般の豫想より四五十錢の下鞘が生れたので買物に三節は八十一錢と押し割安思ひの賣物を急ぐ向かひ鞘を得たり賢しで賣進む向き出せる爲先、阪地安を享けアトは連節安の三十九錢と暴落し中限は賣方は乘替へ買ひで其の下げ鞘は忽ち二圓三十錢臺に擴大して前場を終つた

仕手の態度

新甫十月限に對する仕手の態度を見ると中限へ買掛つて居る強力は成可く踏上り九限で勝負を決せんとする向が多いのに反し賣方は中先二圓餘りの鞘開きなら新米格の一圓を除くと一圓そこ／＼の下鞘の如く大引した

跡跳返す

後場 前場引際連節崩れし模樣を承け、後場は阪地の不冴に先限二十三圓三十七錢と前止より三十錢安に寄付き、跡阪地の七圓臺割れに又復賣物嵩み二節二十七錢から四節は更に十六錢と氣崩れ五節は三十五錢に引返し結局期間の如く大引した

にしか相當しないので賣應先物へ乘替へる方が利得とせる向が多い其所へ思惑ある手口は同じ買ふにしても新米氣分で一杯叩き込んで來た所を狙ふて居る有樣であるから此邊は未だ人氣の頽廢で不勢は免れない情勢であつた

賣叩いた所は買ふべきか

今朝發會せし十月限と云へば假月には早場の新穀が出廻つて來る爲め弱氣としてもうかり乘出せない月であるが然し、それは先の問題であつて目先はまだどうしても天候次第に待つの外ないので新米氣分一本で賣込むのは考へものである殊に、値頃でも高かれば現在の二十三圓臺と云へば昨年新穀の出來秋當時よりも下値にあるのだからかつくと高くなる餘力は十分にある、し其所へ本年の如く旱天が續くと年柄は今後に暴風又は秋雨早冷へ等が起り易いから發會當時新米氣分で賣叩いて來た所は一つ買ふて見るのも興味があらうと云ふ玄人筋もあつた

中先の鞘擴大か

今朝發會せし十月限は既報の如く作柄の良好か新米格の一圓餘から打算して少くとも二圓四、五十錢の下鞘は免れないと云ふ人氣であつたのが中限高に弱氣を阻止されて一圓九十錢と案外鞘に生れた爲め弱氣は得たり賢しで寄進み又買方側でも思惑ある手口は餘りの鞘狹に買埋する向多く從つて相場は寄値段を高値として丁度十錢安の所で止まつた方中には品がスレの甚しい中限に踏み止つて苦勞するより割安でも一段の出廻つて來る先物に乘替へた方が目先の損失を先で取戾す事が出來ると云ふ見地から此鞘乘替へを急がんとする向が多いので中先の鞘は今後擴大するものと見られてゐた

本玉

一日前場までに於ける百枚以上の建玉左の如し

京取 賣方京證二〇〇松山一七〇▲買方松山五四〇正崎二七〇金秀一二〇山口一一〇

大新 賣方田中道二〇〇▲買方松山一六〇新田一五〇

東新 賣方田中道七九〇白井五三〇立山三〇〇日榮三五〇山口二方金秀七六〇新田六〇〇京證五八〇證券四八〇立山四六〇

東新 賣方大林七〇〇松山五〇〇新田五〇〇正崎四〇〇京證三〇〇田中道三〇〇▲買方白井七〇〇正崎六〇〇山口五〇〇松山五〇〇新田三〇〇

かくて昨後場の出來高即ち乘替商內も加算して一〇、二九〇枚に比し今朝は大新一〇〇東新三〇〇合計三一〇〇枚で百枚以上の手口左の如し

現株屋デ御座イ古キ歴史ヲ有シ確實、親切、敏速ヲ定評アル ベニマゴ現株店 本店 釜山府本町二ノ七 電話三一〇・九番 出張所 京城明治町一ノ一 長電話本局一五三番

東京 期米（一日）

	當限	中限	先限
前場	[illegible]	[illegible]	[illegible]
後場	[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲仁川 期米

	當限	中限	先限
前場	[illegible]	[illegible]	[illegible]
後場	[illegible]	[illegible]	[illegible]
出來高（石）	[illegible]	[illegible]	[illegible]
累計	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京・大阪・兵庫・下關・桑名 期米

[illegible]

正米（一日）

京城 ㊂三等二十七圓六十錢、四等二十七圓三十錢地摺玄米上二十七圓五十錢中二十六圓五十錢下二十五圓一錢精白二十二圓五十錢精白米上二十九圓七十錢籾上八錢五圓中八錢三圓下八錢

大豆 龍山十七圓八十錢長湍十七圓五十錢鐵原十七圓五十錢

仁川 ㊂田三等二十七圓三十錢四等二十七圓石拔三等二十七圓八十錢石拔二等二十七圓五十錢丸二角へ四等二十六圓五十錢丸へ四等二十六圓六十錢籾上物八錢二圓在來種七錢九圓一等白米㊂印二十九圓三十錢精米組合一等白二十九圓六十錢を唱へ內地との取引は益々不引合なるも與地への賣行き不良に定期安も無感應の狀態であつた

大豆 龍山通鐵長湍汶山忠州 [illegible]

釜山 各地新甫の發會通りの發會に人氣揃らざるも跡漸落步調に賣氣漸く薄く賣物も少なく結局氣配十錢安見當にて角ヶ畿長二十七圓九十錢神力二十七圓二十錢九ヶ畿長二十七圓二十錢神力二十六圓九十錢見當を唱へ九百六十叺の出來高であつた

群山 各地豫想通りの新甫發會に月初め物々弗々賣物あり跡各地不勢に賣氣配に結局九錢高見當と交へられ丸七三等二十七圓三十錢四等二十六圓九十錢見當にて取引は閑散であつた

大邱 各地豫想通りの新甫發會に弗々賣物ありたため跡各地不勢弗々出來あり賣氣強く結局十錢方小安く發會に終り弱氣配見當にて二十七圓一等十六圓四十錢神力二十五圓九十錢見當を唱へた

大阪市中在米 一日現在高は百八千四百三十七俵と前日の在米高に比較して二萬九百三十四俵減少である

鮮內延べ（一日前場）

	寄付	大引	高値	安値
◇釜山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
◇大邱	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
◇群山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◇大阪棉花

	寄付	止め
前場當限	[illegible]	[illegible]
前場先限	[illegible]	[illegible]
後場當限	[illegible]	[illegible]
後場先限	[illegible]	[illegible]

大阪砂糖 [illegible]

◇大阪棉絲前場 ◇二十五センチメートル

	寄付	同引	寄付	同引
八月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪砂糖前後場 [illegible]

市中米標準値 日期（S・T・）二十三圓九十九錢 白米卸値（一石）二十二圓五十錢 九キ四等新米 二十七圓三〇 仁川一等白米 二十九圓三〇〇

京城手形交換高（一日） 枚數 [illegible] 金額 [illegible]

鮮內延べ（一日後場）

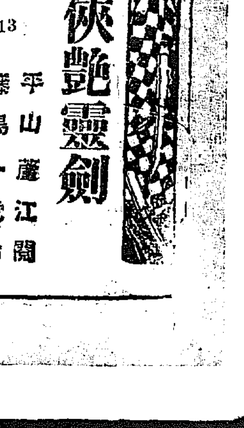
	寄付	大引
●釜山	[illegible]	[illegible]
●大邱	[illegible]	[illegible]
●群山	[illegible]	[illegible]

仁川鮮米本玉表

當限賣方	[illegible]
同 買方	[illegible]
中限賣方	[illegible]
同 買方	[illegible]
先限賣方	[illegible]
同 買方	[illegible]

仁川米豆取引所取引員 仁川海岸町三丁目 ㋑ 今村覺次郎 電話長三三七 三六八 三六七

侠艶霊剣



113

平山蘆江 閲 藤島一虎 作 竹中英太郎 畫

唐獅子の行衛（5）

『親分、いやに何だかひつそり閑としてるぢやありませんか。此奴あ見込み違えをしたかも知れませんぜ』

『連れ込んだ先が違つたらしいですね。ひよつとしたら其方ぢやなかつたかと思ふんですが』

『確この家の筈が洲崎にあつた筈な』

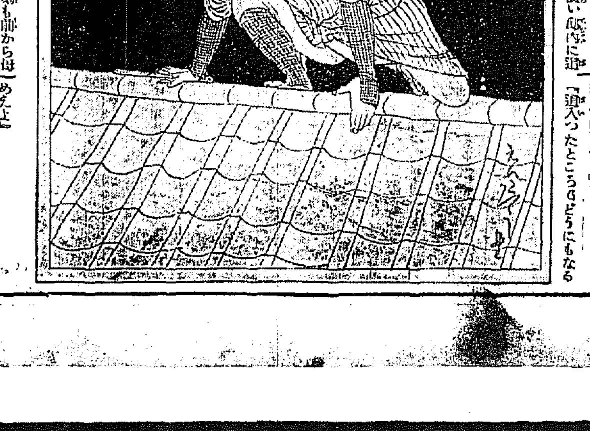
『洲崎の方にや居た筈と絵造が睨つてゐる。彼方だとすりやもう知らせが來る筈だ。それがねえとところを見ると彼方ぢやねえらしい』

『とすると……』

『疑い聞き廻つてゐやがつたんだから、別に離れ所を拵へてゐたかも知れねえ』

『さうかも知れませんね』

廣部半左衛門の、廣い邸內に這ひ



入り込んで、もう一刻も前から母屋や、離れ座敷の樣子をうかゞつてゐるのは、町奉行下の吉兵衛と乾分の留吉であつた。

鼬と綽名のある位、敏捷で、鋭い留吉の耳は、先程から幾度屋中を廻つて見たか知れなかつた。三間からある塀の土藏の間々までも殘る隈なく、身體中を耳にして嗅ぎ廻つたのであるが、雪江を連込んでゐるらしい氣配は何處にもなかつた。

母屋には、主人の半左衛門が何氣で寢てゐるらしいので、その方に連込むはずはない。どう考へても離れ座敷か、または土藏の中だと見込みをつけたのであるが、それらしく思はれる聲は一聲も聞き出せなかつた。

『全く、此奴あ見込み違ひをしたかな』

吉兵衛はがつかりしたやうに呟いた。他の事件なら一日二日おくれたところで事を落すやうな事はないのだが、この事件ばかりは一刻おくれても取返しのつかぬ破目になるのである。

雪江としても、假に五郎から堪へ難い凌辱を加へられたら、生きてはゐないだらう。それを吉兵衛は想像するのであつた。組木屋敷へ踏込むにはその前へ一應届け出されねばならぬのであるが、それさへしないで忍び込んで來たのは、一刻も半時も早く雪江を救ひ出し度い爲であつた。

『此方でないとすると、何にも一寸見當がつかぬが。お前に心當たりはねえか』

『さあ……あつしにや、てんで見當がつきませんね』

『半時おくれりや半時だけ危險が殖すばかりだ。此奴あ困つたな』

吉兵衛がこんな煩悶を瀕したのは今夜が初めてだつた。

『もう何時でせうね』

『九ツに近からう』

『仕方がねえ、あつしや母屋に踏込んで見ませう』

『這入つたところでどうにもなるめえよ』

『でも折角來たんですからね、何處か見つからねえとも限らねえが』

さう云つたかと思ふと、留吉の姿は闇を縫つて母屋の建物に消えてしまつた。

『おやッ、何だか聲がするぞッ』

母屋の雨戸にぴたりと耳をあてて、中の樣子を聞いた留吉の耳に人の呻ぶやうな聲がきこえた。

吉兵衛はくるりとまた母屋の周圍を廻つた。半左衛門の屋敷の棟割に大きい離れ物で、奧まつた部屋から出る呻きは到底外から聞び知る事は出來さうもない。

『畜生らしい』と思ふ所へ來ると少しの足がかりを見つけて、屋根に手がかかつたと見ると、ひらりと屋根へ飛びあがつた。

『う、しめたッ』

明りとりの窓を見出すと、スルスルと苦もなく家の中に這入つて了つた。

總ての行動が泥棒と變らない。たゞ目的が違ふだけだ。

『あッ、此奴あ驚いた』

と、一歩踏込んだ留吉が、思はず叫んだ。

京城日報
朝刊
本紙朝夕共十二頁

大岡政談全集

田中貢太郎著　全二巻（最新刊）　歴史篇・現代篇　各價壹圓五十錢　送料十八錢

夏季絶好の讀物

物語作家として文壇に特異の地位を占むる著者が、曩に發售した怪談全集の姉妹篇として輯錄したもので、發表當時嘖々の好評を博したものゝ中から會心の作を精撰したものである。現代篇は獵奇的讀物たると共に明治大正を語る者の見逃すべからざる好資料歴史篇は明治以前に材を探れる一粒撰りの實話。何れも物語文學の最傑作として、一面日本歴史の裏面史として、將た世相史として絶大の興味ある好讀物である。

歴史篇内容　[illegible]

現代篇内容　[illegible]

田中貢太郎著
怪談全集
歴史篇（十八版）現代篇（十六版）各價壹圓五十錢　冊送料十八錢

ルブラン著　佐佐木茂索譯
アルセエヌ・リュパン
（廿版）價壹圓五十錢　送料廿四錢

大佛次郎著
ごろつき船　上巻
（四十版）價壹圓八十錢　送料廿四錢

正宗白鳥著
現代文藝評論
最新刊　四六判上製　價貳圓五十錢　送料二十四錢

冷徹白眼假借することなく何處までも嚴正に眞實を尊んだ態度は常人の取ることの出來ないもので、先づ漱石を俎上に乘せ紅葉、露伴、泡鳴、二葉亭より現代流行中堅作家まで犀利に剔抉し併せて演劇の眞髓を述べる一代の名論集である

文藝評論（六版）四六判上製　價壹圓八十錢　送料二十錢

谷譲次著
もだん・でかめろん　價壹圓五十錢　送料二十錢
テキサス無宿　價壹圓五十錢　送料二十錢

改造文庫

最新刊
朝の螢　齋藤茂吉著　2
平凡　二葉亭主人著　1
原生林　前田夕暮著　3
神皇正統記　宮地直一著　3
川のほとり　古泉千樫著　1
小公子　若松賤子譯　2
海やまのあひだ　釋迢空著　4
寡婦マルタ　清見陸郎譯　3

[illegible]

百頁十錢

發行所　東京芝區愛宕下町　振替東京八四〇二　電話芝(43)二一二二～四　改造社

日本地理風俗大系

白熱的歡迎・申込殺到

書き換へられた昭和日本の新風土記

本大系は從來の地理書や、所謂名勝案内記と異り、我國に於ける一切の地理的現象を分析し解剖し、其仍つて來る處を闡明し、之に興味ある合理的解釋を試みんとするもので、從來漫然と眺むるに過ぎなかつた山川、湖沼、田園、都市、建築、名勝、史蹟、政治、經濟、遊樂、行事、衣食住等々も茲に初めて獨自の意味を展開し來るべく、加之權威ある執筆者諸氏が其專門的立場より各地に出張撮影せる珍奇有益なる寫眞は何卷無慮數百を算へ、鮮明なる印刷、獨特の編輯により生きた日本のあるが儘の姿を縱横に活寫し來り、一讀何人にも興味津々たるものがある。

編輯委員（五十音順）
工學博士 天沼俊一
文學博士 石橋五郎
工學博士 伊東忠太
理學士 飯本信之
理學博士 小川琢治
前遞信省道路局長 荒川正太郎
理學博士 加藤武夫
文學博士 喜田貞吉
史蹟名勝保存協會員 國府種德
理學士 佐藤弘
工學博士 關野貞
文學博士 高橋健自
帝國大學教授文科 田中阿歌麿
東大學教授 田中啓爾
林學博士 田村剛
文學博士 鳥居龍藏
京都帝國大學教授 中村新太郎
法學博士 新渡戶稻造
理學博士 松村瞭
法學博士 矢作榮藏
理學博士 脇水鐵五郎
理學博士 渡邊萬次郎

全十二卷刊行書目

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
總論（地文）	總論（人文）	東京及其附近	關東北部及奥羽	東海地方	中央及北陸	近畿	中國及四國	九州地方	北海道及樺太	朝鮮	台灣及南洋

第一回配本　東海地方篇　近日中より配本開始

內容見本　申込み次第進呈す

申込略規
▼四六倍大版一冊約四百頁本文全部特製アート紙
▼裝幀世界地理風俗大系に準じ極めて高雅且つ堅牢
▼全十二卷第一回配本を除き他は豫約者へ申込つ
▼會費左の通り
▼毎月拂（一冊金二圓金三十錢）一時拂金二十[illegible]
▼送料內地三十六錢、朝鮮六十二錢

最新 世界大地圖

無代進呈
本社特製掛軸用定價金六圓「世界地理風俗大系」の愛讀者で、八月十五日までに「日本地理風俗大系」御申込みの方へ無代進呈します。

世界地理風俗大系第八回配本
カナダ及中米篇

各卷好評激甚

本篇收むる處カナダ、アラスカ、メキシコ、中央アメリカ、西印度諸島である。カナダは英國の一部なれど殆んど獨立國の狀態であり、我國との關係益密接を加へ、アラスカは米國の風領ではあるが、アリューシャン群島を連ねて我國と接近する。土人文化の遺跡に富むメキシコは、德川家康が商人を派遣して以來關係の深い國、又中央アメリカには六共和國一屬領あり、それ〴〵地理風俗を異にする。パナマ運河を見る丈けでも興味が深い。コロンバス以來のロマンスに富む西印度諸島も同樣に諸君の好奇心をそゝるものが充滿してゐる。

本篇執筆者
文學博士 石橋五郎
文學士 今井登志喜
理學士 大村一藏
日本山岳會 北田正一
理學士 佐藤弘
子爵 田中阿歌麿
林學博士 田村剛
前公使 堀口九萬一
洋畫家 宮武辰夫
理學博士 渡邊萬次郎
（五十音順）

既刊書目

1	2	3	4	5	6	7	9
イタリヤ篇	北米合衆國篇	アフリカ篇	フランス篇	南洋篇	イギリス篇	支那篇	印度篇
既刊配本濟	既刊配本濟	既刊配本濟	既刊配本濟	既刊配本濟	既刊配本濟	既刊配本濟	八月中旬發行

申込略規
▼四六倍大版各冊三百數十頁全廿四卷
▼會費
▼毎月拂（一冊金二圓金三十錢）一時拂（二十四冊）金六十圓
▼送料內地三十六錢、朝鮮六十二錢

既刊品殘部僅少に限り追加申込を受く申込要急

東京市神田區錦町一ノ一九　振替東京四三二四〇番　電話神田四七一一番・三二九六番
新光社

法人登記公告　成川出張所
[illegible]

法人登記公告　裡里出張所
[illegible]

登記公告　价川出張所
[illegible]

法人登記公告　群山支廳
[illegible]

商業登記公告
[illegible]

法人登記公告　安州支廳
[illegible]

法人登記公告　裡里出張所
[illegible]

法人登記公告　金化出張所
[illegible]

法人登記公告
[illegible]

法人登記公告　鎭南浦支廳
[illegible]

法人登記公告　楊平出張所
[illegible]

法人登記公告
[illegible]

商業登記公告　金堤出張所
[illegible]

◇―山梨總督と拓相會見―◇

三十日午前十時半拓務省に松田拓相と會見。(左松田拓相。右山梨總督。前面和服姿は小村次官)

對外爲替續騰し
解禁相場出現か
一時的乍ら貿易出超と 實行豫算の緊縮が原因

【東京電報】爲替市場は實行豫算の緊縮ぶりに好感を持續してゐたが更に貿易出超を示したため一日は一層上向き、寄りつき市況は期近もの對米四六ドル二分の一對英一志一片のう唱へに買手約半ポイント高であつたが午後は更に騰勢に轉じ、うり對米四六ドル十六分九對英一志一片三二分の一と一手約一ポイント高を先物は一月迄に二二ポイント方づゝ高く、十二月もの對米四七弗八分の五對英一志一片一六分九でこの市況で計算すれば來年七月ものは四九弗八分三といはゆる解禁相場を示す勢である

芳澤公使留任
政友會の强硬方針に反對 夙に幣原外交に共鳴

【東京電報】芳澤公使は歸朝後佐分利駐英大使館參事官たるべしと豫想されてゐたが豫想に反して同公使は五日夜東京驛發上海に赴き、中國に歸任することゝなつた然して右の如く駐支公使の更迭が實現せざりしは芳澤公使の歸朝により同公使は前内閣時代から政友會の强硬方針と反し、寧ろ幣原外交の支持者たりしこと明かとなり殊に日華關係の有識者をはじめ對支事業家、在支邦人間にも非常に支持者多きに鑑み、一旦更迭は中止となつた譯である

五日發歸任

【東京電報】日支通商條約改訂問題を控へ濱口内閣と打合せのため先月歸朝した芳澤公使は五日夜東京驛發歸任することゝなつた同公使は神戸より海路上海に向ひ同地に暫時滯在し今月中旬北平に向ふ豫定である。芳澤公使上海着の上、場合によつては南京政府要路者とも往復して濟南事件解決後の協議したる方針に基づき條約改訂に關する意見を交換し、これが小手調べをなすものと見られてゐる

滯京指令問題と
貴院方面の批判
公平の立場に在る會派は 政變と更迭切放しを主張

【東京電報】山梨總督の滯京指令問題に關し、貴院政友系の間では政府の滯京指令を以て免官奏請の强制手段をほのめかしたものとし假令今後事態紛糾することあるもその責政府にありとしてゐる。一方民政系の間では解放政府の强硬手段に賛意を表してゐる。然してこれ等政民兩派に關係なき研究、火曜、公正等の諸會派は大多數は外地長官を政變と共に更迭せしむるは惡例を遺すもので、政府の態度は笑ふべきものである、政府今回の指令はドッチもドッチの感を抱かせる、然し、この問題も早晩解決するものとなし、冷靜な態度を執つてゐる

兵役義務者と
廢兵優遇案
前内閣の計畫踏襲し 陸軍で作成を急ぐ

【東京電報】前内閣の計畫にかゝる兵役義務者及び廢兵の優遇については現内閣もこれを繼承することゝなり、近く首相又は陸相を會長とし審議會を設けられることゝなつたが陸軍ではこれに附隨すべく原案作成のため阿部次官を委員長とし、陸軍省内委員會を設け作成を急いでゐるがその主なる事項左の如くである

一、軍事救護法の改正

入營者に關する事項

(イ)入營者の家庭貧困なる場合は富人の申告なくとも家族扶助料を給與し又其の額を增し

(ロ)且つ國家が無料で病氣治療を施しては如何

二、入營に依る失職又は就職困難を緩和するには如何にするか

三、近親者病氣又は死亡の時は旅費を給し歸鄉せしめては如何

四、兵卒の俸給は現狀でよいか

五、入營せぬ壯丁に服務稅を課け、入營者とその家族を優遇しては如何

六、除隊に際し軍服を給與しては如何

在鄕軍人に關する事項

一、簡閱點呼の旅費全額を支給しては如何

二、事變等に參與する場合は特典を與へては如何

三、郵便切手、葉書、印紙等の賣捌きに參與する場合特典を與へては如何

四、恩給に應じ恩給を給しては如何

廢兵に關する事項

一、公務死傷に當る際何等か特典を與へては如何

二、飯酒貸を減額しては如何

なほ全部の實現は一千萬圓を要し困難なる見込である

行く人來る人
朝鮮軍異動を見て

◇今度の陸軍異動はこれまでに見られないほど範圍が廣いだけに、朝鮮軍關係では頭株としては軍司令官、參謀長の更迭、第十九師團長の待命を見た◇朝鮮軍司令官から軍事參議官に補せられた南大將は謹嚴にして細心、武人としての長所をこれまでに兼ね備へた上に無類の酒豪で、酒は飲めない人だけに容易には顏を持たぬがそれだけ望み手が多い、酒は一時も杯をはなさぬといふ風であつたが、三年前から醫師に節酒を命ぜられて鬼をも挫くさすがの將軍も閉口してゐる。この將軍の長所の的となつてゐる將軍が朝鮮をさることは將卒ばかりでなく地方人から非常に惜まれてゐる

遂行者、趣味といへば講演、圍碁位のもの。講演は聽き手が將帥、學生、地方人、囚人、等々、何であらうが、國民思想善導および内鮮融和のためには四歳となるそして聽き手を必ず感銘せしめる

嶺で、當年五十五才、明治二十八年五月少尉任官、三十八年三月少佐に進級、大正八年七月少將となり、同十三年二月中將に進級、面白いことには金谷將軍とは同鄕で、士官學校は一期違ひの第六期生であるが、天津軍司令官、參謀次長、朝鮮軍司令官といづれも金谷將軍を踏ふでゐる。家庭でも『やさしいお父さん』と令息や令孃に慕はれるが、外に出ても血もあり涙もある人格者、それでゐてイザとなればとても强い人、だから部下は將軍のためならばどんな苦勞も厭はぬと心服してゐる。これで軍司令官ではよい武將を送つたが、その代りに得難い武將を迎へたわけである

◇溫厚篤實を以て知られた第十九師團長渡邊中將の待命はまだ惜しいと思はれるが、後任の川島義之中將は仕事として最もうるさい陸軍省人事局長の職を何等の非難も受けずに立派にやりとげて、さすがに川島將軍でなくてはと嘆賞せしめた人だけに、北鮮治安の上に冴えた腕を見せるであらう

◇朝鮮軍參謀長から中將に進級して獨立守備隊司令官となつた寺内壽一將軍は朝鮮の大恩人故寺内元帥の長男、鋭い頭腦の持ち主として知られてゐるが、いつもニコニコと人ざわりのよいことは武人とは思へぬほど、それだけ何人にも敬愛され官邸には來客の波が押しよせてゐるが、その歡迎の前に先日の危險で受けた右脚屈骨の折れたのがまだ癒えず、寂しく病床で滿洲の空に思ひを馳せてゐる

◇新參謀長に榮轉した步兵第卅九旅團長(平壤)中村孝太郎少將は金澤の前田藩の家老の家、本年四十八歲の働き盛り十三期生で明治卅五年六月少尉任官、少尉、中尉、大尉時代まで殆ど陸軍省にあつて兵務局に勤して旅順攻撃に殊勳をたてた。從來外國駐在武官から參謀本部に長らく勤め、次で陸軍省高級副官の要職を四代の大臣の下に勤め一昨年八月少將に進級、不思議に旅團長として來たり、昨年は戰線に部司令官として勇名を馳せた人である。温厚篤實な人格者で妥協性に富み令嬢三人のお父さんで家庭中心主義者、軍司令官も理想的の好副役を持つことになる

◇なほこの外に地方人と關係深かつた大家德一郎(前第十九師團參謀長)町田三郎(前步兵第七十五聯隊長)久我正二郎(前步兵第七十六聯隊長)大内收多佐(前砲兵第二十八聯隊長)入野鐵一中佐(前騎兵第廿八聯隊長)長谷川奧代次(前軍司令部附)谷口與助(前第二十師團參謀)平井亮助(前步兵第四十旅團副官)各少佐の轉出はいづれも別れを惜まれてゐる

李王殿下轉補
步兵第一聯隊附に

【東京電報】近衛步兵第二大隊長として御勤務あらせられる步兵少佐李王垠殿下には今回の陸軍定期異動と共に第一師團司令部附步兵第一聯隊附に御轉補あらせられた

陸軍大異動
轉補、待命、進級追加 【昨一日發表】

【東京電報】陸軍大異動は一日午前十時より首相官邸において官記傳達式があつたこと竝に主なる轉補、待命、進級の顔ぶれは夕刊既報の如くであるが轉補と待命進級の追加左の如し

轉補

補朝鮮軍司令官 大將 金谷範三

補軍事參議官 朝鮮軍司令官 中將 南次郎

補朝鮮軍司令官 近衛師團長 同 長谷川直敏
補東京警備司令官 教育總監部本部長 中將 林銑十郎
補近衛師團長 第十一師團長 同 小泉六一
補第三師團長 參謀本部附 同 松井石根
補第十一師團長 陸軍大學校長 同 荒木貞夫
補第六師團長 陸軍整備局長 中將 松木直亮
補第十九師團長 陸軍省人事局長 同 川島義之
補士官學校長 同 林仙之
補教育總監本部長 參謀本部總務部長 同 岡本連一郎
補參謀次長 關東軍司令官 中將 畑田次郎?
補關東守備隊司令官 (?)

補獨立守備隊司令官 同 寺内壽一

補第十六師團留守隊司令官 同 井染祿郎
補陸軍大學校長 同 多門二郎
補重砲兵學校長 同 石川滋平
補由良要塞司令官 同 大村有隣
補東京灣要塞司令官 中將男 淺田良逸
補旅順要塞司令官 同 原東鐵太郎
補工兵監 工兵學校長少將 若山善太郎
補下志津飛行學校長 航空本部附少將 小澤寅吉
補明野飛行學校長 同 荒蒔義勝
補士官學校長 步兵學校教育部長 少將 坂本政右衞門
補航空本部總務部長 步兵第二十四旅團長 同 毛内靖胤
明野飛行學校長 同
補近衞師團司令部附 步兵第二十八旅團長 同 外山豐造

補步兵學校附 同 原田敬一
補步兵學校教育部長 航空本部總務部長 少將 小磯國昭
補陸軍省整備局長 步兵第二十九旅團長 同 牛島貞夫
補陸軍大學校幹事 騎兵第一旅團長 同 柳川平助
補騎兵學校長 通信學校長 同 岩越恒一
補工兵學校長 砲兵監部附 同 (?)
補野戰重砲兵第四旅團長 參謀本部第四部長 少將 猪狩亮介
補兵器本廠附(陸軍省軍事調査委員長) 同 林桂
步兵第卅九旅團長 同 中村孝太郎

補朝鮮軍參謀長 佐世保要塞司令官 同 高橋良八
補砲工學校工兵科長 騎兵學校長
補騎兵第一旅團長 少將 梅崎延太郎

補參謀本部第二部長 參謀本部總務部長 同 二宮治重
補支那公使館附武官 同 建川美次
補參謀本部第二部長 步兵第二旅團長 同 古莊幹郎
補陸軍省人事局長 步兵第一旅團長 少將 小川恒三郎
補參謀本部第四部長 步兵第三十三旅團長 同 清水喜重
補士官學校幹事 陸軍重砲兵學校長 同 井上達三
補砲兵監部附 要塞司令官 同 本庄繁三?
補工科學校長 野重兵監部附 少將 岡田恒太郎
補自動車學校長 科學研究所第一部長 同 石川英稔
補陸地測量部長 教育總監部附 同 深見新之助
補近衛步兵第一旅團長 同 西尾壽造
補步兵第三十九旅團長 同 中村潤作
補步兵第十九旅團長 少將 角田政之助
補步兵二十八旅團長 同 鈴木美通
補關東軍司令部附(奉天特務機關長) 同 冲直道

補步兵第一旅團長 同 佐藤三郎
補支那公使館附武官 同 兒玉友雄
補步兵第二旅團長 同 武藤一彦
補騎兵第四旅團長 騎兵第四旅團司令部附 少將 鄉田兼安
補澎湖要塞司令官 步兵第六旅團長 同 井上忠也
補第四師團司令部附 少將 松浦乙二
補津輕要塞司令官 同 (?)
補技術本部第一部長 同 菅野和夫
補舞鶴要塞司令官 同 (?)
補科學研究所第一部長 少將 (?)鐵二
補通信學校長 同 梅戸綽
補下志津飛行學校教育部長 同 堀丈夫
補騎兵監部附 同 朝倉章
補近衞師團司令部附 航空本部 軍監部長 同 弘岡道明
補所澤飛行學校教育部長 飛行第一聯隊長 航大佐 德川好敏
補飛行第一聯隊長 航空兵大佐 同 牧野正廸
補航空本部第一課長 所澤飛行學校教育部長 同 小笠原數夫
補明野飛行學校教育部長 同 大重(?)平

陸軍大學校兵學教官 航中佐 春田隆四郎
任航大佐 補飛行第五聯隊長
補步兵第一聯隊長 陸軍省動員課長 步大佐 東條英機
補近衞步兵第四聯隊長 侍從武官 同 川岸文三郎
任工兵大佐 補近衞工兵大隊長 工兵第十六大隊長 工中佐 高家(?)
補鐵道第一聯隊長 步兵第二十三聯隊長 步大佐 佐田四郎
補四師團參謀長 陸軍省軍務局課員 步中佐 河村勘一
任大佐補本部聯隊區司令官 第三師團參謀長 步大佐 谷壽夫
補參謀本部課員 陸軍省整備局課員 步中佐 安井藤治
補整備局動員課長 陸軍省軍務局課員 騎中佐 宿田陽見
補騎兵第三聯隊長 步兵第七十七聯隊長 步大佐 (?)和一郎
補教育總監部第一課長 參謀本部課員 同 岡村寧次
補陸軍省補任課長 步兵第二十聯隊長 同 高田友助

步兵第一聯隊長 同 服部兵次郎
補參謀本部課長(?) 大阪工廠製造所長 砲大佐 林狷之助
補陸軍省銃砲課長 近衞步兵第四聯隊長 步大佐 大角右太郎
補陸軍省軍務局課員 航少佐 中富秀夫
補飛行第一聯隊附 同 安倍定
補陸軍省軍務局課員 同 賀谷伊之彥
補步兵第三十三旅團長 步兵第十九旅團長 少將 小杉武司
補步兵學校附 少將 篠原四郎
補第二十九旅團長 旅順要塞司令官 少將 山田靜雄
補步兵第六旅團長 關東軍司令部附 同 森(?)次
補第九師團司令部附 野戰重砲兵第二旅團長 同 入江仁六郎
補野戰重砲兵第三旅團長 野砲兵學校教育部長 同 倉(?)直眞
補第三師團司令部附 第十六師團司令部附 少將 林彥一
補第十六師團司令部附 第九師團司令部附 同 芦澤敬策

補步兵第七旅團長 津輕要塞司令官 同 長谷川國太郎
補陸軍通信學校附 少將 岸李一
補步兵第二十四旅團長 少將 畠田周一
補步兵第廿二旅團長 同 石坂弘毅
補熊本教導學校長 同 古川直省
補陸軍軍醫學校教官 軍醫監 小山惠佐
補第四師團軍醫部長 近衛師團軍醫部長 同 倉林香三
補陸軍軍醫學校附 同
補佐世保要塞司令官 少將 中島良雄

待命

軍事參議官 大將 田中國重
步兵第七旅團長 中將 瀨戸口鄕太郎
朝鮮軍司令部附 少將子 西四辻公堯
野戰重砲兵第三旅團長 同 小野茂幸
第十二師團司令部附 同 森下千一
臺灣守備隊司令官 同 細木研
臺灣步兵第二聯隊長 同 二宮久二
第十九師團參謀長 同 大家德一郎
步兵第二十二旅團長 同 鶴井一義

步兵第七十五聯隊長 同 久我正二郎
一等軍醫正 陸軍醫學校附 臨時監 川俣次郎
第四師團軍醫部長 軍醫監 濱田通太郎
第十六師團軍醫部長 同 鈴木久之進
軍醫學校部員 同 春日敏造
第十六師團經理部長 主計監 上野捨吉

待命被仰付(名記)

少將 水町竹三

進級(追加)

少將 三輪時雄
同 村瀨文雄
主計監 中村精一
同 佐野角輔
任陸軍主計總監 步兵第四十五聯隊長 步大佐 末松茂造
砲大佐 岡島群吉
步大佐 森下千一
任陸軍少將 一等主計正 長野捨吉
任陸軍主計監 一等軍醫正 春日敏造
同 戶塚綠
任陸軍々醫監 一等軍醫正 新庄籾三
任陸軍軍醫監

國交恢復交涉
夜を罩めて國境に 双方の意見尙懸隔

【長春二日發電】露支間國交恢復交涉の特使蔡運升氏一行は三十日夜七時半滿洲里に着、直にダイヤに滯留中のメリニコフ總領事と電話を以て會見期所、時間を打合せたところ、メリニコフ氏は露支國境八六番避線にて會見することゝなり、露國側より特別列車を仕立て滿洲里に出迎へ、蔡氏は同夜その列車で兩地に至り兩特使は自國の主張を背景に深夜の月光を浴び、平和裡に國交の恢復に入るべき協議を交渉は夜を徹して繼續され、會談の内容は極めて嚴祕で窺知の交換された

一、ロシヤの對支赤化宣傳を中心とする國交恢復問題

二、東支鐵道問題を中心とする地方的問題に二分し、國交恢復問題は南國政府の任命する全權せの間に當り地方的問題は相、メリニコフ兩氏これに當り兩國全權の正式會議の開催に歸着する迄の會談の準備を肩取つて凡ゆる兩國軍隊を國境より引きとらすこと

三、歐亞連絡國際列車運行恢復等であるらしく、東鐵問題は双方の主張相當隔離あるらしくヒマカラン事の準備交渉終つて全權の正式會議を開く手順である

朝鮮倉庫長
遠藤氏更迭
後任は根岸氏

【東京電報】朝鮮陸軍倉庫長 二等主計正 遠藤豐三郎
補第一師團經理部員

被服本廠附兼陸軍省經理局課員 二等主計正 根岸 (?)
補朝鮮陸軍倉庫長

陸軍に
藥劑總監
最初の總監は 渡邊衛材廠長

【東京電報】三十一日勅令をもつて陸軍藥劑總監(中將相當官)を新設する事となり、一日發表の陸軍定期異動で左の通り進級が行はれる

陸軍衛生材料廠長兼藥劑官 渡邊又次郎
任陸軍藥劑總監

出淵大使
國務長官訪問

【ワシントン三十日發電】出淵米國大使は本日國務長官スチムソン氏を訪問し、露支問題に關する政府の公報を報告した

函館地方裁判所長

【東京電報】函館地方裁判所長の後任は左の如く一日發令された
檢事兼司法書記官 鬼頭豐隆
任判事(二等)
補函館地方裁判所長

兩相委員任命

【東京電報】濱口首相は拓務政務次官松田拓相は國際規約の委員に任命されることに決した

米國記者團
歸途につく

【東京電報】曩て本邦朝鮮滿洲方面視察中の米國記者團一行はいよいよ二日午後一時七分東京驛發横濱に赴き三時解纜のサイベリア丸で歸國の途に着くことになつた

南部豫選に
大邱商勝つ

大邱商業倶樂部主催全鮮中等學校野球大會南部豫選決勝の釜山中學對大邱商業試合は一日午後四時より大邱公設球場において釜中の先攻に開始、七回で大邱二十三對釜中七の差で大邱商の勝となる、因に當日のスコアを擧ぐれば左の如し

大邱商	0 8 2 0 0 1 2 0	
釜中(先)	1 5 0 0 0 0 0 0	6-22

南北優勝戰は
三日京城球場で

朝鮮北部の優勝者京城中學對南部の勝者大邱商業の優勝戰は明三日午後一時より京城グラウンドにおいて擧行のはず

―會―

講演會 二日午後八時より長谷川町北部にて

―人―

◇保坂久松氏(京城放送局理事長)東京其他放送局視察の爲三週間の豫定で七月三十一日夜出發

◇米田甚太郎氏(滿鐵京城管理局長)去る七月廿六日午後四時旅行の途大邱府、洗浦崖に於て自動車顚覆し突然逝去

茶話

▲テナーに道ならぬ戀をして良人と愛兒とを捨て走つた女▲愛人のもとに走るとき▲マルセ小唄のやうな戀に醉ふ▲藤間の女の若さがピチ〳〵躍つて小娘のそれのやうだ▲と二だんヌキ四行ミダシで報せらるゝからは▲道ならぬ戀はしないのが損なやうにもある▲それは人氣にさはるかといふにそんなのがかへつてテナーの人氣になり▲それで落ちる人氣なら落ちよとまゝよ▲そんな氣持ちでは絶對にありませんとテナーをして强いことをいはしむる▲ここに現代があり現代日本の眞操觀念がある▲眞操の世間に成り下つたる頃は大さわぎの世間も▲支那浪人の家庭にはいつた事件にはおどろかず▲文壇老大家の變態戀觀にはかへつてエロチックな興味をさへ感ずる▲それがいけると高調するは心外だがいけないと切歯するは笑止だ▲明治人は天保錢を笑ふたが昭和ツ子は明治人を笑ふに定まり▲笑はれまいとすれば持つて生れた貞操觀に四十臺の頭をのせて五十臺化賤をほどこさねばならぬ▲生きとし生けるものゝ輪廻のないはずにして▲それが蘇つて見れば美しいけれども▲はだかにして一旦經驗美を應探ずるを如何せん▲四半裸體をみたといふはいまだ半裸體のある事を知らず▲全裸の自然姿勢が五體の表美たるを知らざるに歸する▲戀態は戀態の向ふ側だが戀態の向ふ側は實は何にもないので▲たゞ應時計がチツクタツクといふだけのと▲身投は戀態の其然な結果の化▲つきせぬ原因はらふに由なく▲けふもチヤーレストン▲これぢや平から中チヤーレストンおどつて▲浮世を七分三分にしてのけずにはをれまい▲歯つたものだ。

◇經濟◇
六月中の 爲替受拂減少

京城手形交換所調査、六月中の全鮮各地組合銀行及組合銀行以外の銀行の資金並に爲替受拂高は受入二億八千四百十七萬七千圓拂出二億八千三百三十九萬四千圓、受入超過七十八萬三千圓で、五月中に比し受入れは一千二百二十六萬一千圓、拂出二百六十六萬四千圓の各減少で前年六月中に比しては受入二千二百四萬圓、拂出二千四百九十四萬二千圓の各増加である、爲替受拂の内容左の如し(單位千圓)

受入	六月中	對前年同期增減(△)
對内地	二〇三、三一元	六、三七
對鮮内	三〇、八六	二、三三
對滿洲	一〇、三六	△三、〇六
其他	六、四〇	一三二
合計	二六四、一七	一、〇四

拂出	六月中	對前年同期增減(△)
對内地	二六六、〇〇	一四、〇〇
對鮮内	二五、二三六	三、一六
對滿洲	七、三三	△一、五三
其他	三、三三	△一三〇
合計	二六三、三四	三、四四

因みに右に依れば六月中の全鮮爲替受拂は五月中に比し受拂共に減少し殊に對滿洲關係に於て對前月對前年同期に比較し受拂共に減少せるは注目に値する

七月不渡增加

京城手形交換所調査七月中の不渡手形數は人數四十四名枚數七十一枚金額二萬三千九百四十九圓四十八錢で、六月中に比し人數九名枚數二十枚金額五千四百四十七圓四十九錢の各增加である

京城手形交換

京城手形交換所調査、七月中京城手形交換高は枚数十一萬二千三百七十三枚金額六千四百四十七萬四千四百十四圓で六月中に比し枚數五千百七十四枚金額四百七萬四千圓を增加し、前年七月中に比しては枚數額三百四十萬四千圓の各增加である、六月中の交換內容左の如し(單位千圓)

種類	枚數	金額
約束手形	三三、九四	三、一三四
爲替手形	三、三〇	四、五八
約束及爲替手形	八、三〇	五、二三
政府預金小切手	五、三八	七、三二一
郵便振替貯金	二九	三
公債々券利札	一、五三	二、九〇
雜類	一二三、三三	六〇、三四四
合計		

◇株式◇
大株短期引跡

大新	六十四圓九	(十錢高)
東新	百十五圓	(不變)
日新	百三十九圓十	(十錢低)
東新	百〇三圓八	(五錢高)

◇期米◇
各地期米後場止

下關二六四、十二番二四、名古屋二六四、一番二四、六三▲名古屋二五、八〇▲金澤二二、七〇▲熊本二六、七四大阪最終氣配七十九錢一錢安

仁川穀物出入(卅一日)

	到着	移出
米 (俵)		一五三〇
同 (叺)		三一五
玄米 (叺)	四八三	ナシ
白米 (叺)	四五〇	
大豆 (叺)	三三七五	
同 (叺)	五三〇	
玄米 (叺)	二五八〇	
大豆 (叺)	四四二〇	

群山廻米報(一日)

便	玄米	六八〇
汽車便	玄米	一、〇〇〇
同	籾	ナシ
牛車便	玄米	ナシ
同	籾	ナシ
合計	玄米	一、六八〇
	籾	ナシ

總督滯京

山梨總督は當分滯京し政務の打合をなすこと〻なつたおもむきである。いはゆる政務とはすなはち讀みて字のごとく政務であつて差し當り考へらる〻は實行豫算の始末であるが、それ〳〵衛生政治の重きを見つ〻あることはあるけれども、しかも大綱の操縦には總督を煩はす必要があるのであらう。豫算編成の時に總督みづから當ることの適當なりや否やは異論の存するところであらうが、現勢の下に豫算を大綱の實行豫算といふものに置いて居る以上、やむなく總督の出馬を避けることは出來なかつた次第であらう。

もちろん總督の滯京を以てその職責に關係あるごとく吹聴するは當らない。滯京は滯京であり職責は職責である。しかしてわれ等は總督滯京なる現前の事實を認識せざるを得ぬけれども、滯京如何については何等觸くところがない。尤も浮説はある。浮説の評議はある。しかしながらその根據に至りては殆ど全く存しないのである。それは問題の性質がその根據を示すはずがないからでなくてはならぬ。朝鮮總督とはその官そも〳〵何なりと思惟するぞ。

われ等はヂャアナリストが官人の浮沈に特別の興味を感ずることを知つて居る。政黨が人事行政に一轉向を示すであらうことも知つて居る。たゞ總督に關し、特に朝鮮總督に關しみだりに臆測をたくましくし、眼前に假像をゑがいてこれをもてあそぶことは深く戒めねばならない。このゆゑにわれ等は山梨總督は使命を誤りなく速めて政務の圏に歸し、遠く歸任の途に就くべきことを信ぜんと欲するものである。

華露直接交渉

露支紛爭ははじめ實力抵抗の形なく、交渉近きにあるをおもはしめたものであるが、時あだかも不戰條約の効力發生があり、國際政局の形勢が露國の反撥をゆるさず、遂に兩國とも國交斷絶の手段に出でたのである。元來ロシヤも支那も不戰條約の調印國であり、中んづくロシヤはその調印に當りて條約の効力發生を附言したほどである。今更それを裏切りて戰爭は出來ない。不戰條約が紛爭規定を缺くのゆゑに條約の持つ精神的意味をもじふりんして可なりとは論斷せられさうもないことであつて、紛爭處理を和平的手段の上に進めやうとするに至つたことはわれ等のうなづきうるところである。

しかしてロシアの欲するところは東支鐵道管理權の回復であり、支那の望むところはロシヤの赤化宣傳運動の全國的禁止にある。東支鐵道は長い過去以來ロシヤと支那とのみのインテレストであり、赤化宣傳といふはロシヤの支那に働きかかつた災厄である。しかし問題は頗る簡單であつて、われ等をしてさきに第三國に據らず両國かぎりにて解決すべきものといはしめたのはもとより平和かつ簡潔なる解決であつたとおもふのである。うべな國際間の和平脈況は滿洲、アジア〳〵兩國の直接交渉によりてのみかち得んとしつ〻あること。

尤も問題はしかく簡單であるが事態は可なり紛糾を經たのであつて、これが解決には相當の曲折を余儀なからしむることはやむを得まい。すなはちロシヤ側の原要求たる現狀回復といふて、管理局長以下の就任をこの際支那側が實に承諾することが出來るかどうか。支那側は一千余名がソヴエトに懇意されて居るはずであるが、ロシヤは果して交渉開始に先立ちてこれを釋放するだらうかどうか。交渉を圓滑ならしむるため彼此を相殺して現狀のまゝに折衝をはじむるとして、管理權確認と宣傳禁止とを交換的に綜合し、相互の諒解を成ずるにはそれだけの日子を費さねばなるまい。われ等は今回の直接交渉開始により華露國交が促進を圖し常軌に還ることを寶するとともにその合理的推進をこの後に期待してやまないのである。

第十九、二十兩師團異動
（夕刊の續き）

陸軍大異動中朝鮮關係の主なるものは夕刊に既報したが、その他は左の通りである

十九師團

異動

轉出

轉入

課換

學校配屬

二十師團

異動

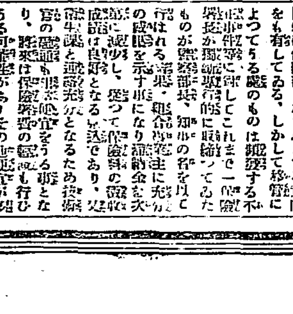
轉出

轉入

命課換

[illegible]

貞洞夜話（八）
部長岡本正夫（上）
松浦生


岡本正夫氏

かれは岡本正夫である。……[illegible]

目覺しい農村副業の發達
補助金も驚くばかり増加

【東京】農村振興に伴ふ副業の助長は近年特に目覺しい進展を遂げ、農林省の調査によれば一個年の産出を見つ〻ある府縣においては年額八億三千萬圓の巨額に上つてをり、最も多額の府縣を通じて年額[illegible]……

萬國平和大會
十月開催

【東京】昨年ワルソーに第二十六回萬國平和大會は本年度は九月二十八日開催の豫定の處、都合により變更して十月六日から開催することとなつた。……

保險署移管
八月一日から
取締上便宜が多い

【東京】現在全國五十ヶ所に配置されてゐる簡易保險署を遞信省直轄よりこれを分離せしめて地方遞信局の指揮監督下に移管せしめやうとの意見は遞信當局でも以前からの懸案であり、……

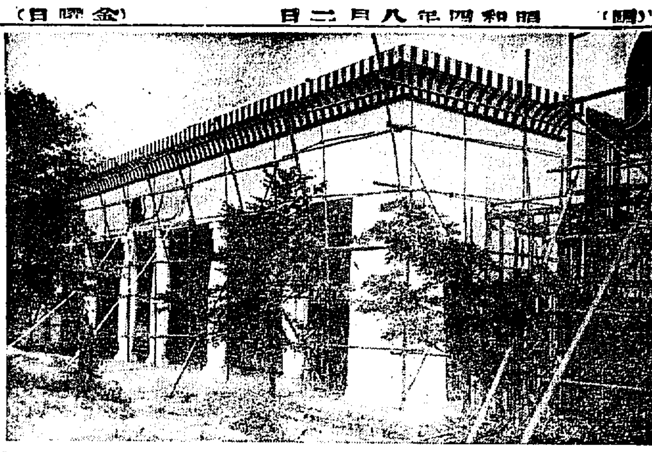
痔疾專門
入院隨意
京城府明治町二丁目本町通り中央
京城肛門病院
電話本局三六七二

近視性の子孫に遺傳は
男60％女100％です。
近視性の御婦人は是非眼鏡を掛けて近眼の進まぬ様にせねばなりません。完全なる設備と豊富なる經驗を有して居る眼鏡專門の弊堂へ御用命を願ひます。
京城府本町二丁目
大學堂眼鏡店
（新刊カタログ御申込次第進呈）

溫泉旅館
荒井旅館
御指定
荒井旅館

創立明治參拾貳年
倉庫業兼營
京城府南大門通貳丁目百拾壹番地
株式會社 朝鮮商業銀行

鎮南浦府
最上醬油
柳原釀造所
特約店
京城南大門通貳丁目 増田食糧品店
京城貫鐵町四丁目 中野昴七商店
京城貫鐵町三丁目 大脇三十郎商店
京城南米倉町 大庭梅次郎商店



近く竣工する朝鮮博咸南特設館

平安南道

百萬圓の金が平壤に撒かれる

緊縮の折柄耳よりな話　近く着手する澱粉會社

政府の緊縮政策はあらゆる方面に波及しつゝあるが中にこれは又意外百萬圓の金がまかれやりといふ話＝資本金一億圓の米國コーンスタッチ會社朝鮮工場は資本金六百萬圓を投じて平壤府船橋里大同江畔前大同江とその支流普通江との間にある八萬坪の大敷地内に建設さることに決定東京支店から技師その他が家族と共に近く來壤の筈で九月早々工事に着手、一ケ年餘りにして竣工のはずであるがこの敷地中河川に臨む約七百間には高さ四メートル乃至五メートルの護岸を築造し更に船附場、倉庫、揚水の設備、レールの敷設を行ひ工場付近にはコンクリートの基礎工事を行はれる外職員社宅、職工舍宅が逐次建設されるがこの護岸費八萬圓、職工宿舍費だけでも百萬圓以上におよびそれだけ平壤府および附近に落ちるであらうといふのである同工場の建設に伴ひ附近には新に町が生れやうといふので附近一帶に土地の値上がりを見つゝあり大、小土地成金の出現を見んと噂されてゐる（平壤）

職氏が噂にのぼりつゝあり朝鮮人側においては李〔以下不明〕、崔成九、〔不明〕その他の諸氏が噂に上つてゐる（平壤）

府議員改選

噂とりどり

平壤府行政區域擴張後第一回の府協議改選は來たる十一月に行はれるが早くも候補者の噂に雨後の筍の感み盛をあはせてゐる現在の議員のうち〔以下不明〕

電氣統制の起債

樂觀さる

平壤府の電氣統制問題について平壤府當局は卅一日電氣統制およびこれに伴ふ公債五十八萬七千圓の起債方を道を經て本府に申請すると共に松井府尹府長は〔不明〕と共に衛生局を訪問

合財袋

◇……朝博へ平安南道成川郡から出品の大すっぽんは道廳へ届いたが生きものゝことゝて始末に困り猪野技手の手で死なぬやう飼つてゐるが「すっぽん」の喰べもの生餌がこの地方にゐないので猪野技手は「いりこ」を與へてゐるところが「すっぽん」君「いりこ」食ではどうも營養が足りぬらしく一日と瘦せてゐるので猪野技手に入れ度いと今度は猪野技手の方が氣をもんでゐる（平壤）

◇……平安南道では左の如く第二回歌合戰を行ふ（平壤）

▲八月廿四日▲釜山公立普通學校▲同廿六日▲同公立普通學校▲同廿八日北倉公立普通學校

ゴルフ天狗の述壞

釜山ゴルフ俱樂部の平井、山本、佐々木、福田、稻葉、德島、坂本の諸氏はいづれも三十一日、三浪津に一日遊びに出かけた平井氏は語る

何れも初めてのコースなので成績は好くなかつた〔以下不明〕

粗包裝改善

叺式とす

知事室において國出知事、監督課長、事務部長、互地方課長に詳細經過を報告すると更に種々協議を遂げた政府の緊縮方針の影響その前途について一般に案ぜられてゐるが府當局は同事業が他の事業計畫となると思ふので樂觀してゐる（平壤）

平安南道においては籾包裝改善について昨年來種々計畫をすゝめてゐたがいよいよこれが徹底を期すべくこの程大田、平壤、鎭南浦、安州、平原、順川の各郡に〔不明〕て籾の包裝は叺にすることとしかしてこの叺は郡叺式のものとし穀物を叺に使用すれば一層有利であらうと當局は語る

從來の俵裝では量目が不足であり取扱ひが不便である上に輸送費が嵩み而かも〔不明〕

期成會は成行き觀望

期成會の如く釜山府營電氣の申請は認可となるか却下されるか今のところ見當が立たず期成會幹部は慎重なる態度を持して成行きを觀望して居るが萬一買收不能となつたあかつきにはいかなる方針を執つて今後に處するかについては目下幹部中の意見は未成、長の歸來を待つて協議を遂げる意向に一致しをり問題はいよいよ微妙なる域に彷徨する狀態である（釜山）

旱魃來

水田に龜裂を生ず

慶南各地は昨今まったく旱魃兆候を呈し釜山、固城、昌原、その他主要なる各郡の〔不明〕く龜裂を生ずるもの續出し荒し今後十日間以内に降雨がなかつた場合には甚大なる打撃をかうむるおそれがあるので當局では卅一日各府郡へあて灌漑設備と用水の節約および地下水の汲取を防ぐ等防止の方法について通牒を發しなほ近日中に技術員を總動員して旱魃被害地へ向け出張させることになつた（釜山）

チフス下火

釜山府民を脅かした腸チフスの流行も漸く下火となり三十一日は隔離者の發生をとゞまつた模樣である〔以下不明〕

慶尚南道

注目さるゝ瓦電の動き

認可か不認可か　府民の神經極度に緊張

釜山の〔不明〕問題は認可となるかこゝ數日のうち決定される見込のもとに釜山府民の總ては極度に緊張して成行き如何にそゝがれてゐるが若し認可となつた場合には關係する府民がいふまでもなく直接の問題としては府よりの買收を見込んで出來るものみならず〔以下不明〕

もとづいて現在の如き瓦斯料金は相當値下げとなるべく從つてこの際にても二十五萬圓の支出を余儀なくされる模樣であるから到底瓦斯會社としては今日までの如き營業成績をあげることが不可能であるのみならず増資を余儀なくせねばならぬとさへ觀測されてをり更に府民としては瓦斯料金の〔以下不明〕るとみられてゐる

馬山から

◇醸造元の山邑が昭和の紫に手を染め、銘酒菊正宗と稱へたのは明治二十四五年の頃であつた、爾來釜山に支店を設け活躍して居たが、最近に至り鮮地に於て醸造せられる日本清酒の品質向上し、それと共に此の價額も亦石敷の殺伐と共に比較的低廉な關係た爲日本人の嗜好が漸次在來酒に移りつゝある傾向に鑑み鮮地に於て醸造を試み低廉なるものを供給してこれが需要に應ぜんと醸造場を先づ釜山に設置せんとしたが釜山は此種工場の場所と水質に於て缺けてるところあつて各地を調査して調査の結果、馬山が最適地として〔以下不明〕

電信事務開始

馬山郵便所は從來郵便貯金事務のみを取扱つて居たが遞信局では地元有志の寄附により近く電信電話事務を開始する

コレラ警戒

上海發出船は檢疫

例年のごとく上海を中心として支那地方に猖獗をきわめるコレラが漸次範圍をひろげて來るので當局ではチフスが蔓延して居る際にコレラまで侵入して來ては一大事であるから水上署が第一線に起つて釜山港へ入港する各汽船その他の船舶に對して上海を經由せるものは他の貿易港に寄港せる船舶といへども規定通りの檢疫を施行することに決定し廿七日より實施してゐる（釜山）

朝鮮博は後一月

特設館は大體出來上る　金產業課長談

朝鮮博覧會はあと一ケ月に迫つたので京城は勿論朝鮮全道各道とも目下特設館建設の準備に忙殺されてゐる慶北特設館は大體出來上がつたが各道中位置が高い園にあるので見晴らしがいゝ慶北からの見物客のため三ケ所の指定旅館もきめてきたがこの三ケ所をあはして四百人は優に收容出來るので八十錢小供六十錢にきめて一日一泊二食附となつてゐる

期成會總會

府營には愼重の態度

内地人側瓦斯期成會と朝鮮人側期成會は三十日午後八時から期成會總會を開き今後の對策を協議したが府營問題に對しては特に愼重なる態度をとることになり内地人側期成會の成行きを見て徹底する事に協議が纏まり同十一時散會した（大邱）

朝鮮人側

後八時から第一小學校で瓦斯値下期成會としての今日までの經過報告をなし方々期成會は解散すべく府民大會を開くことになつた今後は專ら府營運動に向つて猛運動を行ふと（大邱）

慶尚北道

値下げ期成會一先づ解散

今夜報告市民大會を開き　更に府營に邁進

大邱電氣瓦斯の値下げの先鋒をなした和田沖十氏を首領とする大邱瓦斯電氣値下期成會は電氣料値下げは〔不明〕されたがそれによると當初の主張と値下げとの差が甚だ大きいので滿足せず期成會は一先づ解散して大邱府協議員の主張する電氣府營期成會に合流して電氣府營期成同盟を組織することゝし三十日午後〔以下不明〕

期待を裏切ることのない樣注意せねばなるまい（大邱）

乘合自動車三派鼎立

競爭的に新線敷設出願

慶北道内の自動車による貨物運送狀況は著しい發達を遂げたが現在では道内の各地にわたり縱横數十の路線〔以下不明〕

夫の寫眞を抱き列車に飛込自殺

情婦の爲めに捨てられた哀れな巡査の妻君

三十一日朝列車に飛込み自殺した大邱警察署勤務巡査部長丸永鐵雄妻技（二三）は手足バラバラになつた死體を三笠町一番地の自宅に運ばれさびしい葬儀が營まれたが同女が死に先立つて認めた二通の遺書は一通は兩親へ一通は山本とかいふ丸永の情婦に宛てたもので〔以下不明〕

水蔭氏講演

文士江見水蔭氏は三十一日大邱通過京城に向つたが京城元山、その他で講演をなし歸途中旬大邱に立寄り府公會堂において講演をなすことになつた（大邱）

共榮自動車總會

大邱共榮自動車會社は三十日總會を開き一部の配當をなすことに決定したので道地方費は年利配當として七千五百圓を受けることゝなつた

夫は名譽の劍客

遂に免職となる

自殺した警技の夫丸永は大邱署の外事警部をなし顧道四段の腕前で昨年秋朝鮮を代表して明治神宮競技に出場し優勝して歸つて來たもので今回の事件で免職となした

全羅北道

群山商議評議員會

群山商議評議員會では卅日午後五時から定時評議員會を開き昭和三年度歲入出決算と事業報告をなした外、昭和四年度歲入につき二三議論があつたが別に異議なく可決確定し、懇親會に出席せる評議員より連絡委員會における決議事項の報告があり、終つて委員會において〔以下不明〕

盈德の旱魃

慶北盈德郡内は去る七月二日以來一回も雨を見ず水田は全部枯渇し至る處龜裂を生じこのまゝ數日降雨がない時は昨年以上の旱害を豫想され農民は各所で雨乞ひをなしてゐるが昨今雲低いふとなく市場を變更すれば必ず雨が降るといふので去る二十八日の盈德の市を五十川邊に移したが一向雨らしい氣配がないので色々な雨乞ひ迷信が盛に行はれてゐる（大邱）

暑さに敗けて脫營

去る廿九日朝鮮軍〔不明〕脫營逃走した大邱步兵第八十聯隊第三中隊二等兵〔不明〕は三十日朝來大邱憲兵隊で嚴重取調べ中であるが擔架は口をかんして何事も語らなかつたが卅一日に至り漸く語を自白した、それによると毎日一日何十度といふ炎天で教練をするので同僚中にも日射病でたほれるものが多くそれに本人も暑さを恐しく炎暑の激練にたへ切れず逃走したもので既往および本人は水道の裏山で發見した、なほ同人は本年六月入營したばかりのものである（大邱）

滿洲

亂暴な支那人

わが巡査に暴行す

【長春特電】去る廿九日午後五時半頃長春頭道溝地北門外派出所勤務の吉林副領事館警察大隊後藤巡査が管内居住邦人の警備狀態取調べの爲三馬路附近通行中同所で來た支那人勞働者十數名と附近から集まつた十數名の支那兵等が同巡査を擁しユーラ行を加へんとするので最寄りの邦人方へ避難せんとしたところ彼等は一附屬地内にて發兵するに日本官憲が妨害する何だ「」と稱して店前に頭部提燈その他の兇器を攜へてますます不穩の氣を示し附近は容易ならざる形勢となつたが急を聞いて領事館より臨田警部以下の警察官と支那側の公安局よりも巡警十數名が出張したので暴民はそのまゝ四散逃走したがわが當局は交渉によび厳重抗議の結果支那側に一、暴擧兵の嚴罰　二、領事館及び警察署に謝罪　三、部下取締を嚴にし將來かゝる暴擧をなさしめざる保證の三ケ條の要求を容れ一兩日中に暴兵を調査の上これを斷行することゝして解決した

信通城京

デモ地方債

京城　一記者

釜山の瓦電買收に三十萬圓の認可、ナミダ金とは何だと來た。しかりナミダ金とは何がナンダだ。いやしくも取つてよい金ならナミダを流さずに取るべく、やつて惜しからぬ金なら泣き面を見ずに拂つてつかはすべきである。

×

しかしながらナミダ金といふからいけない。瓦電の町人根性がぱくろしいや味なることおびたゞしく、それをまた受け入れたる府尹も府尹なら知事も知事だといはねばならないが、この三十萬圓を買收費なりと計算してそれだけが合理的なる買收費なりと計算を立てれば泣き面せずとも濟はすむ。ソコで本府認可の指令が出づべくして出でなかつたのである。

×

瓦電買收費は穏價が許す。されどこれはこれでも元來が地方債である。地方債は一般公債と共に緊縮を必要とし、緊縮方針の上からこいつ危いといへぬこともないがその緊縮方針なるものはだ。

×

その緊縮方針なるものは政黨の活躍するところでの問題で、甲黨が乙黨の政治と別異の政治をやつて見たいからの緊縮である。朝鮮の釜山の、その府債が一律にこれでも地方債なりとして考ふべきものかどうか。朝鮮でそれをいつては滑稽に聞こえるばかりである（七月卅一日）

賜御買上之光榮

御存じですか！此便利な品を!!

三兼用　太平枕

常用枕に氷枕に空氣枕に丈夫で年中使へる優良な理想品

全國藥店ゴム店等にあり　説明書御申込次第進呈

錦ゴム製

發賣元　大阪市備後町一丁目　中村利三郎商店　太平ゴム株式會社製品

グボタの製粉機と製麺機

丸久式　ウドン　パン機

●能率石臼の五倍以上●勞力石臼の三分の一●米、麥、小豆、ソバ、豆●粉の製粉、石臼、碎穀の一●藥原子貝料、石灰、籾殼、料骨●諸原料の粉碎に最適

丸久式手廻製粉機

使用至極簡便能率一時間うどん二貫目しかも從來の製麵機の十分の一の價格にてうどん屋そば屋營業用に使用さる一般家庭用にも大歡迎さる

（カタログ進呈）

大阪市東區東雲町電停前　久保田工業所　電話東三〇〇五・振替大阪三三五四二番

朝日乾電池

優秀に輝き實價に誇る

ラヂオ用　燈火用　通信用

專賣特許

製造元　朝日乾電池株式會社

代理店　京城府本町一丁目　東京府下谷區田上町　浪商會

文献贈呈

新刊　結核治療豫防　（先充疫）

A・Q　（結核ノ理想的治療法）　故板嶋博士、有馬、太田三博士十年研究ノ結晶デアル

A・Q　（肺結核ノ初期）　ニ際シ肺尖加答兒ニハ特ニ有効デ他ノ療法ヲ要セヌトイハレル

A・Q　（肺結核ノ中期）　ノモノニモ有効デ他ノ療法ト相俟ツテ多數全治セシムル

A・Q　（腺病ルイレキ）　ニ殊ニ有効デ之ヲ全治スル上手供ノ健康ヲ著シク增進スル

A・Q　（骨關節結核）　ニ血ヲ見ル手術ヲ施サズシテ多數適ニ全治セシムル

A・Q　（眼科的結核）　ニ神效アリト稱セラレ同時ニ其人ノ健康ヲ著シク增進スル

A・Q　（副睾丸結核）　ヲ切除セズシテ全治セシメ男子ノ保存ヲナスコトガ出來ル

A・Q　（肋膜腹膜炎）　ニモ著効ガアリ多數適ニ全治セシムル

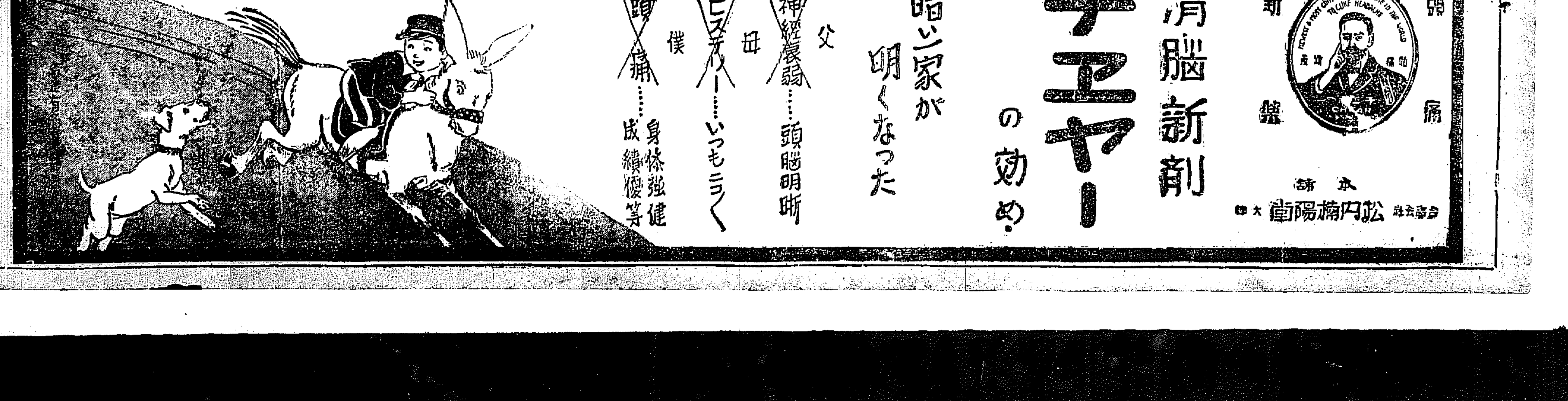
A・Q　（結核發病）　〔不明〕

A・Q　（皮膚結核）　ニ對シテモ例外ナキ治效ガアッテ保存シテ治癒セシムル

A・Q　（不快ノ反應）　皆無使用法極メテ簡易、使用回數少ク從テ治療費ガ廉イ

A・Q　（世界唯一）　ノ新學術ニヨッテ造ラレ、日、英、米、佛、獨、伊等各國政府ノ專賣特許品デアル

發賣元　大阪市東區和泉町四丁目　須美商店　電話本局三三八六番



木浦港外の外達島海水浴場

平安北道

國境豫選
四日午後三時から 新義州球場にて

本社主催全鮮中等學校野球爭覇戰の國境豫選は天候と選手の都合上延期して各地豫選のしんがりをつとめいよいよ四日午後三時から行ふこととなつたが、これがメンバーの提出および競技事項の打合せのため二日午後一時から新義州公會堂に競技部および今回の出場チーム、平北商業、新義州農業の幹部の打合せ會を開いて打合せることとなつたが兩チーム共連日猛練習を行ひベストメンバーの組合せに腐心を續けてゐたがこの打合せ會で雙方のメンバーが決定する譯である(新義州)

新義州の煙火大會
十日夜開催

[illegible]によつて鴨緑江日報社では十日夜八時より新義州税關構内の鴨緑江岸において納涼煙火大會を開催するが、例年これに和して安東縣よりも船にしかけ烟火をしつらへ或は船舶を浮べる等[illegible]をあげてのこれが見物人で殷も江も不夜城の如き盛觀を極めることゝ今から兩地の人氣を煽つてゐる

職工の奇禍
回轉機で捲き殺さる

卅一日午前十時十分新義州營林署第二工場で作業中の朝鮮人職工金興民(二)は誤つて機械に觸れ回轉機で頭部から胸部にかけて惨殺され見るも無慘な即死を遂げた(新義州)

新義州商議役員會

新義州商議所では卅一日午前十一時より役員會を開き[illegible]

京畿道

京城府内の衛生狀態
赤痢患者は毎日二三名宛發生

京城府内の赤痢患者は府衛生課の調査によると左の如く七月下旬十日間に四十一名の發生を見、今日までに三百四名の新患者を出してゐる、廿一日二名、廿二日一名、廿三日十名、廿四日六名、廿五日七名、廿六日五名、廿七日四名、廿八日一名、廿九日四名、卅日三名、卅一日三名 七月三十一日現在府内の患者數は八十三名であり、その他、腸チフス三十七名、パラチフス四名、猩紅熱三十三名、ヂフテリア一名で府内における先月末における傳染病患者總數は百五十八名であつて大體昨年度と同樣の狀態である

仁川青年團
評議員會

仁川青年團では三十日午後八時半から仁川公會堂において評議員會を開き團長以下役員三十名出席協議の結果年中行事の一である夏期旅行は八月十七日決行することに決定した、當日午後九時半仁川驛發[illegible]

新灘津
水泳大會
三日大田發

[illegible]

乘合發動船
江景扶餘間に就航

[illegible]

海水浴往來
大田中學校

[illegible](江景)

電信事務開始

[illegible]

忠清南道

溺死

仁川府[illegible]溺死した(仁川)

開城の庭球試合

[illegible](開城)

[illegible]

全羅南道

外達島の海水浴場
三十一日から開く

この夏から新設の木浦港外の外達島海水浴場開きは三十一日午後二時から盛大に擧行された昨今の暑さに堪へ兼ねた浴客は當日四五百人が押しかけ中にはバラックを建てラジオまで持ち込んで臨海生活をして居る組もある(木浦)

嚴組優勝す

[illegible]優勝は木浦[illegible]組であつた(木浦)

全南雜俎

[illegible]

咸鏡南道

咸興から

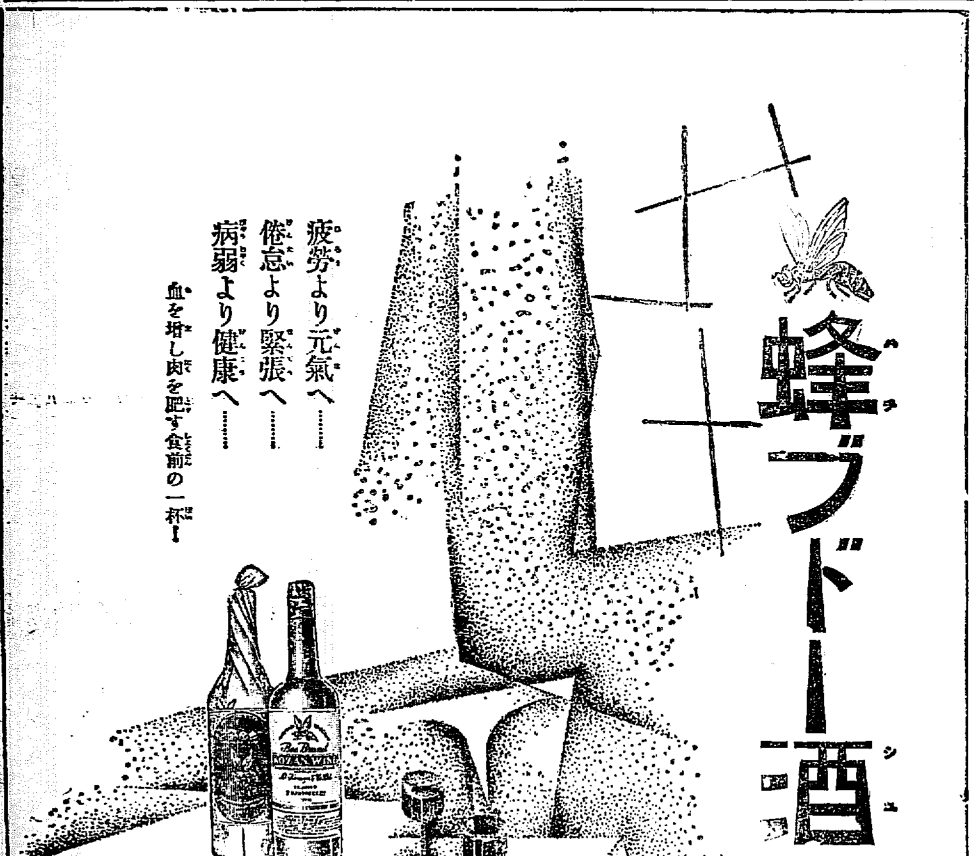
[illegible]

落雷で慘死

[illegible]

地方人事

▲藤谷宗順氏(大田中學校長)二十七日馬山へ(三十一日歸任)
▲菅柳敬治氏(大田電氣專務)內地旅行中の處三十日歸任
▲坂田政太郎氏(大田高女校長)三十一日馬山へ七日歸任の豫定
▲石本平南警察部長 平原、安州、价川、順川各警察署巡視のため寺坂警部を隨へ卅日出發卅一日歸任



蜂ブドー酒

疲勞より元氣へ……
倦怠より緊張へ……
病弱より健康へ……

血を増し肉を肥す食前の一杯!

發賣元 東京本町 近藤利兵衛商店
醸造元 東京茅場 神谷傳兵衛本店

4—74

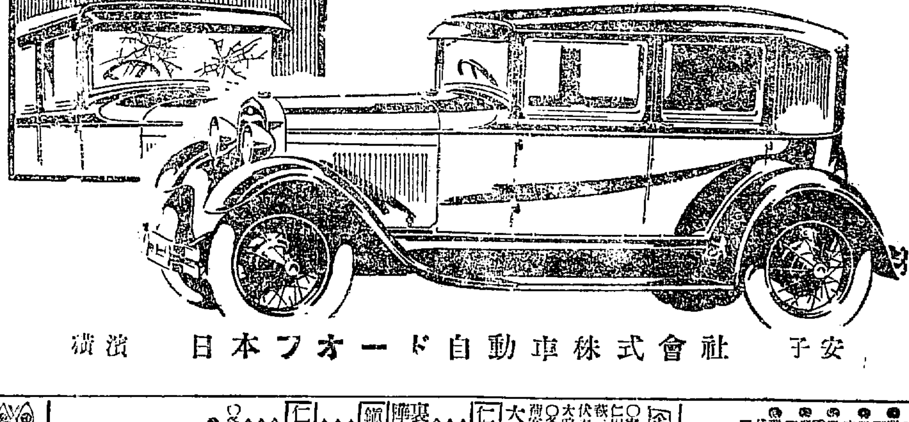
安全な
新フォード自動車

新フォード自動車の風除け硝子は粉碎飛散しないトリプレキス硝子です。

由來自動車事故で車上の人が死傷する其大部分は此風除け硝子の粉碎飛散に起因して居ます。

フォード車の別名を『安全な自動車』呼ぶのは此理由であります。

新フォード
フォードア セダン型(四扉附)
定價 金貳千六百貳拾圓也(京城渡)
(前後バンパー、豫備車輪、タイヤ附)



安子 日本フォード自動車株式會社 濱横

仁川出帆 (尼ケ崎汽船)

[illegible]

高杉回漕部

嶋谷汽船 仁川出帆

[illegible]

大連天津直行

仁川發

裏日本北海道行

鎭南浦發

仁川發

仁川出帆 (山下汽船・川崎汽船)

協同海運會社

大阪商船株式會社

内地各港出帆主要航路

森信汽船 仁川出帆

森信汽船株式會社

定期 朝鮮郵船

▲金剛山探勝航路開始

博多航路

仁川出帆 (朝鮮郵船)

[illegible]

釜山出帆 (朝鮮汽船)

[illegible]

仁川汽船出帆

仁川汽船株式會社

正岡子規の話【5】

高濱虛子

◇　◇

この頃支那といふ國について今日考へてみますと、無謀だと思ふ戰爭もありました。例へば日淸戰爭に從軍する以前から子規は病身でありました。すでに大學の生徒であつた時に咯血したことがあります。そういふ病弱の體でありながら從軍したといふことは如何にも無謀であつたと考へられるのであります。その時分には日淸戰爭の捷報がくるたびごとにわれ〳〵には躍り上つて喜んだものであります。國を擧げて戰捷氣分でその時分は今こそ馬鹿にしてをりますが、支那といふ國は、恐るべき國であつて、日本は弱小國である。その支那が戰爭へくるたびに、何かにつけて日本を壓迫する。果して日淸戰爭がはじまつた、日本が支那に負けたらどうなるだらうかといふ怖れがわれ〳〵の心のうちを往來してをりました。ところが戰報がくるたびに日本の勝を報じてくる、われ〳〵の心は湧き立つやうでありました。子規はその時分は『日本』新聞の記者をしてをりました。社の同僚達は皆從軍して軍艦へ從軍記者や從軍畫家をのせる。その時分子規の友人で五百木瓢亭といふ男が俳句をつくつてをりました。この男は從軍記者ではありませんが——軍醫に隨ふて看護の方へ廻されてをりましたのでそのために筆を執る余裕があるので臨んに文章を書いて日本新聞へ送つてくる。子規はそれを讀むたびにうらやましい。[illegible]がうらやましいと申してをりました。その時分に從軍記者をしてをつたのに[illegible]氏古島氏等皆子規の同僚でございます。そういふ連中が從軍して盛んに漢文崩しの從軍記を送つてくる子規はそれを讀むたびに心が躍るのを禁ずることが出來なかつたと見へどうでもかうでも自分も從軍したいといふことをたつて申出でました、友人先輩が皆それをとめましたけれども子規は聞かない。遂に從軍記者の許しが出まして從軍しました。果して非常なかんなんをなめました。その時分の從軍記者は今日の從軍記者とは大變相違がございます殆と兵卒のやうに取扱はれ士官の命令は聞かなければならぬばかりでなく軍曹、伍長の命令までも聞かなければならぬそれに船も陸路も三等室で殆ど兵隊と同樣の取扱ひで隨分苦しかつたと思ひます。それから山東に上陸して以來戰場の樣な難儀を受けました結核はすでに從軍中でも非常に苦しんだので遂に歸途の船中で咯血をなしたので歸國することゝなり命から〳〵神戸に上陸しました。私が寧ろ京都にをつたものですから直ぐ神戸に行つて見舞すると顏色は丁度死人の樣な青い顏をしてまだ血を吐いて居るといふ有樣でありました。一體子規の隨として從軍記者となることは極めて無謀な事であります。その無謀だといふ人の戒めを背いて敢て行かうといふ所が子規にありました。それからもう一つは興津移轉問題といふのがあります。これは殆ど亡くなる一年ばかり前にこれまた興津に移住するといふ事で誰が何といつてもきかない。行くのはよいが大病人でありますから汽車にはのせられん。人力車にのせて連れて行くより外に方法がない。それにしても途中が危ないこれには皆閉口されたのであります。子規はどうしても行くといつてきかなかつた。その時加藤拓川といふ子規の伯父さんがとう〳〵說得して思ひ止まらせたので遂に子規も斷念したといふわけであります。この興津移轉問題にはその時分隨分われ〳〵手古ずらしたものであります、これなども頑固があるといへばあるが無謀といへば無謀だつたのでございます。

山中秀雄氏の「漢字保存論」を讀みて（二）

宮崎靜二

二、古典は尊ぶ可し

古典は尊重すべきである。一面において確に國民精神の糧である祖先傳來の氣持、歷史的感情の思想と同一物であるがゆゑに。しかし古典を尊重する事は古典に囚はれる事ではない。古典に囚はれる國は亡ぶ。例は擧げない方がよからう。總ての古き者は存在の意義があつて存在した。しかして新しき者の上に反省を與へ、墮落を救ふ上にその價値がある。古典もそうだ。總ての過去は現在と將來との人類生活に何等かの貢獻せざる限り無價値である。古典に囚はれてはならぬ理由はこゝに存在する。

我が國の古典は漢文學と國文學とに分つ事が出來る。しかして共に漢字を通じて之を知る事を必要とする。よし其內容を共通として形を全然代へたとしても古典としての感興は其原文に就いて見る時に一段と其深きを覺ゆる事は爭はれない。此の意味に於て私は古典の爲に永劫漢字を保存す可しと云ふ。假名も同じ理由に依つて其保存を主張し保存論に共鳴する。」

しかし今日の日本に於て、事實四書五經を眞に讀める人が何人あるであらうか恐らく五指を屈するだけではあるまいか。古事記を古代音で讀める人が何人あるであらうか。一人もない。萬葉の全部分かる人が何人あるだらうか。是も一人もない。是等皆專門學者の研究に待つのである。其程までに漢字は困難であり、事實又不完全でもある。若しあれが音標文字で書いてあれば今頃は十二分にわかつて居たであらうと思はれる。」

四書の講話においてすら識者間論として居る樣であるが、現代においてこれを八千萬の國民は是非これを讀め、これを讀まないがゆゑに思想が混亂するといはゞ吾人は一寸驚へさせられる。何となれば思想上の糧とするまでには讀む者に充分の興味ある思想的體得と讀解力とが必要であるからである。しかしてこれを無理やりに讀むの教科書としてもその結果はかへつて與國の罪過となる恐れがあるからである。

これ等の古典はその生活に余裕を生じたる時において倚古思想の自然的要求によつて古典の殿堂に求め入らしむべき者である。事實音標文字をもつて國字とせば古典が翻譯され一般化される事は日本人の倚古趣味から見て私は疑ひあるまいと思ふのである。

銷夏漫筆【上】

伊藤憲郎

私のやうな者が何を書いたからつて、讀む人としたら余計に暑さを感ずるだけだらうが、私自分としては確に銷夏である。更に銷夏の方法としては何時にまれ熱中といふことが第一のやうである。こうして筆を執つて何かしら書きだすと今日の暑さを忘れるといふもの。」

×

さて、銷夏に[illegible]が加はつた場合は別であるが、——そんな場合は人間そのものが裂てしまふ譯であるが——夏季になつて溫度が高まると人間が野蠻的になる傾向がある。

この頃は、[illegible]方面にも現れて夏には强盜とか殺人とかが多く行はれる。强盜殺人とか强盜殺人とかいふ部合はせも出來てきやう、同盟罷工、同盟休校も多い。「たださへ暑いのに工場の中と來たら大火輪がグル〳〵廻つてゐるベルトの焦げたやうな色にも思はず吐息をつく——そんなこんなで同盟罷工をやり出すかどうか、それは知らない。」

學校によると六、七、八、九の足かけ、四ヶ月休む所もあれば八十日位だらうが、更に角國分休むものだ。元氣スポーツがかなり盛んだが夏休みに登山をするといふ事では勿論ないだらう、山に海に——暑いから休むに違ひないと思ふが、同盟休校防止といふ點はは確にある。朝鮮のやうに同盟休校の多いところは思ひ切つて一年中夏休みにしたら面白いだらう。

×

炎天の下にゐる群衆は余程氣をつけなければならぬ、彼等は雲の中にゐる場合とは大いに違ふ。固よりそれが狂熱運動に轉向すべく他にいろ〳〵の原因があるのであるが、夏において盛と熱と二つながら惡化的である。

暑氣のためにイラ〳〵してゐる彼等の心理狀態は極めて暗示的である。そんな群衆が路上にフラ〳〵してゐるときは年の若い富少年は何はともあれ國外にあるべきである。君子は危きに近寄らずとは今日においても至言に違ひない朝鮮においては殊に人だかりが多いやうに思ふがどうか、かなり市民的衞生を持つ京城においてさへ屋不些事に好奇心群衆を見受けることしばく〳〵である。」

京日詩壇

六月集…8　佐藤淸選

私・女給・

京城　内藤待子

ぷよ　ぷよした椅子に
ゆつたり腰かけて天井を見たつて
私はやはり女給よ
煙草を天井に輪にふいて
客をまわしても
私はやはり貧弱な女給なのよ
私は
女給さんと云ふそくばくされた
生生活から
脊のび出來る時
もくちゝ胸のいたみを感じるよ
そして妙にセンチメンタルに
ゆがめられてしまうのよ
あゝ！
只個の消された此のカエーの一隅に胸をおさへて
ぷよ　ぷよした椅子に腰かけて
一人きどつて客をまねるのよ

圖書館にて

京城　あざみ

逃げたあの人に
もつともつといぢめられたく
どうしても忘れきれない十九の
娘には
ずつぺらな『マノン・レスコオ』が
苦しくなる程重いのです
×
かまきりの樣な青年が
絕えず咳をしながら
カードの一枚一枚に
せつせと
結核菌を植えてゐます
×
私は久しぶりにたつた一人になり
死にたくないと思ひました

戀

京城　稻村諦

あの人はもう私に手紙を書かぬと云ふ
それだけで私から逃げたつもりらしい
あの人は新しい戀人と手を携へて
樂しい旅に上つたといふ
それだけで私を捨てたつもりらしい
私は逃げる人を追ふのは嫌だ
逃げた人を忘れるのは嫌だ
反かれて砂を立てるのは嫌だ
愛はたんねんと波立たぬ心の殿堂に
ちつとちさせておきたい

麥秋感傷

京城　伊藤正夫

どうしたつていゝのか
男は帽子をみいだせなかつた
（風がすこしもうごかなかつた）どうなげいていゝのか
こゝろがあまりにもしめつてゐると思はれた
（目は潤目と渺渺にうすれてゐた）
男はをのれの半生に
落寛のおち穗をひろつてゐた
（片かげりのした麥丘は
無口な厭世家の風丰をうつしてくらかつた）
六月・夏のさ中に
男はまさしく秋をさぐりあてゝゐた

詩集「雲に鳥」

わが京城詩壇選者にして京城大學教授佐藤淸氏第四詩集『雲に鳥』を上梓す。裝幀恩地孝四郎氏ページ數百十二、一千九百二十三年より一千九百二十九までの選集である。尚豫約申込所は東京市外西大久保百五十九佐藤淸氏宛。直接申込者には自署。定價八十錢。特製一圓三十錢前金

短詩

堤の白

◇牧場の御者が歸るさ舞合せ子供ら讃曲　鈴木芦雨
◇夏草の青空へトンボ逃したまんま　多田晋士
　野村鶴原
◇とぶらひをまつ隣の實さがり　桑名碧翠
◇土工ら晝休みの鮎をとり二ひき生かして
◇雨降りつゞく夜は蛙打つ音の　森内稍男
◇花賣り今朝も買へとな女郎花　泉谷秋踊
◇ひでりてはたけトマトヂヤンガイモ夕月太い　岩淵山與水
星流れ屋根の暗みこちらへくる猫　岡田田洲

長興明楠會（北習報）

——七、二五田園居——

夕闇を蚊遣煙りが流れけり　草雨
蚊遣火に尿の匂ひ流れけり　北習
牛買ふ太ふる蚊遣火ほこり蒐　汀省
蚊遣香のほそ〳〵立つ山宿　亞流
蚊遣火に背向きとなる母　眉山
說く事に蚊遣してゐたり　天狼
軒傳ふ蚊遣煙見てゐたり　榮綠外

若葉會（京城、麥扇子）

沙彌搔に蝙蝠居るや無住寺　杜城
蝙蝠の出て宿場の騷燒ける　桐蔭
風に灯をとられしまゝや蚊食鳥　桐舟
暮れはてゝ蝙蝠見る河原哉　枕流子
蝙蝠や頭撲めて古風あり　松陽
蚊喰鳥大樹をかすめ又かな　花和
何もかも消はなれ蝙蝠放る鬼　麥扇子
水の面とびつやくや蚊喰鳥　貫洞
人歩ゆいよく涼し橋の上　桂城
蚊やりしてみんな揃ふ涼哉　鶴風
蚊やりして夕餉の向ふ老夫婦　蛙亭
過しき平和なり新涼哉　北呂夢

高麗吟社（開城梅香選）

虫干せる母の形見の羽織哉　光峰
虫干の途中雨となりにけり　碧鳳
虫干や母の形見の香を嗅ぐ　柳女
虫干の蛹は長閑山の朝霞　菊女
虫干や樟まゝをかけて　覺香女
虫干や亡き祖母の物見たり　星洋
日に匂ふ棚行李や土用干　梅谷

銀杏明楠會（京城、鳴蘭居）

月見草夜話なくて菓子たべて　松女
數寄のひたく〳〵彈る月見草　信子
星明りぽちかり月見草咲いて戀　鳴蘭
月見草雨細ひなり子の戀　北雷
浮く〳〵ことと月見草見る雨上り　純水
しら〳〵夕に浮く月見草　五城
さかな匂ふ非■洗ひ月見草　鶴仙

學界

◇相馬御風氏　短歌木折色紙短冊頒布會高田早苗氏外數名の發起の下に左の規約に依つて▲普通會費一口金二十圓▲普通會費一口拂込に對して御希望により左の三種の内何れか一種をお送り致します。

甲種紙本半折一枚（箱付箱紙）、乙種色紙（大型）二枚、丙種短冊四枚▲尚特殊御希望の爲めに、A種紙掛一枚金十圓、B種色紙一枚七圓C種短冊一枚金五圓五十錢、▲申込所東京市外西巢鴨町宮仲二一九六倉若稗二咲方相馬御風氏揮毫頒布會。

◇石楠（八月號）京日俳壇選者臼田亞浪氏の非字俳論、句集發刊の例言として亞浪、生活と表現形式との關係西村、澁澤雜者林火其の他（金五十錢）申込所京城大和町二ノ二九出司鶴仙

◇井上鬼城氏（俳人）夫人病氣入院中の所此の間退院

◇多田晋士氏（本社記者）湖南地方旅行中歸城。

◇立石たかし氏（同）內地に歸省一昨日出城昨一日夜本社主催の天惠村助役として元山に。」

募るもの

短歌【雜詠】　榮舟先生選
川柳【同】　窗花坊先生選
俳句【同】　亞浪先生選
詩、童謠、民謠　佐藤淸先生選

詩、童謠及民謠を除いて一人五句又は五首以內、用紙は原稿紙封皮には種別を明記の事

締切　八月卅一日　學藝局選

朝鮮浦項（東洋のボルドー）と稱せらる ○ミツワ農場葡萄園

純良なる葡萄酒は、健全なる良好の血液を作り、吾人の健康を增進し、保健に効果のあることは、古來の定說であります。ミツワの商標を冠せるミツワ各種葡萄酒は、弊店經營の朝鮮浦項ミツワ農場葡萄園に、歐洲產の卓絕せる苗樹を移植し、多年苦心の結果、栽培の功を納めた優良歐洲種葡萄を原料として、釀造されたものであります。此葡萄園は地質風候東洋のボルドーと稱せらるゝもので、朝鮮慶尙北道大邱の東三十里朝鮮東海岸唯一の良港浦項市外に在り、二百餘町步の面積を有し、高燥なる丘陵地は、雨量少く、歐洲各國の良葡萄園と同じ地質に屬し、發育の良好、成熟の優秀、眞に、理想的の良葡萄園であります。斯く原料の優秀に加ふるに、釀造の設備は、近代釀造化學の粹を採り、更に、釀造技術に於ては本邦葡萄酒釀造界の權威者農學士仲野隆一氏監督の下に釀造されてあるのであります。

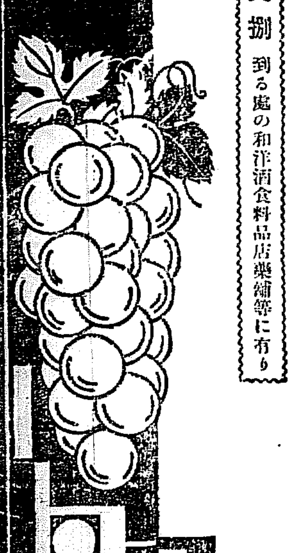
故にミツワ各種葡萄酒が、歐洲產に比し、毫も遜色なき醇良なる國產優秀品である事は、夙に識者の激賞を受けてゐる處でありまして、頃來、山梨朝鮮總督のミツワ浦項農場御視察をも辱ふした次第であります。

是非御鑑別の上御愛飲の程をお願ひ申します。

○ミツワ農場葡萄園產
各種自釀葡萄酒及洋酒類

◎ホワイトワイン
◎クラレツト
◎スヰートホワイトワイン
◎スヰートレツドワイン
◎キユラソー
◎ベルモツト
◎ミツワ規那鐵葡萄酒
◎局方葡萄酒
◎ブランデー（スヰート・オールド）
◎ミツワ人參葡萄酒
◎醇良葡萄酒

賣捌　到る處の和洋酒食料品店藥舖等に有り



○ホワイトワイン　○クラレツト　○スヰートホワイトワイン　○スヰートレツドワイン　○キユラソー　○ベルモツト　○ブランデー（スヰート百番　オールド二百番）（藥用帶用入）
○醇良葡萄酒　○ミツワ人參葡萄酒　○ミツワ規那鐵葡萄酒

ミツワ石鹼　ミツワ家庭藥　ミツワ齒磨　肝油ドロツプス　本舖　丸見屋商店　東京市下谷區二長町　振替口座東京七一〇番

全朝鮮各地方に對しては格別勉強御用命に應じ可申候間何卒弊商會へ御註文の程奉希上候

福榮商會卸部　釜山榮町二丁目三番地　電話（長）八九八番　一〇八一番　振替口座京城一二九番

閑院宮を御帯親に 御慶びの着帯式
九月十四日に擧げらる 皇后陛下御靜養

【東京電話】目下葉山御用邸に御靜養遊ばされてゐる皇后陛下にはいよ〜來る九月十四日の戌の吉日御着帯式を擧げさせらるゝ旨御内定遊ばされ從つて御目出度き御分娩も十月初旬頃と拜されるが御着帯遊ばさるゝにつき、天皇陛下には閑院宮殿下を御帯親として御帯進獻方を御命あらせられた、それにつき一日午前十時同宮家附事務官は本省に出頭し關屋次官より殿下に言上方の傳達を受け退出した

バナヽの林や鬱蒼たる竹むら
南國情調豊かな 朝博の臺灣館

さらく〜と音もすゞろな椰子の葉ずれ見るからに食慾を唆るゆたかなバナヽの實り、かうした南國情緒を一抑して

觀客の 人氣を一手に集めやうと意氣込んでゐるのは、朝博の臺灣館である、早くも臺灣總督府の派遣部員は數日前來城、目下府内本町に事務所を設けて朝博當局と諸般の打合せを行つてゐるが、施設のうちで最も興味を惹くのは同館中庭四十五坪に造作されて南國風景かなる風景であらう、たとへば鬱蒼たる竹むら、椰子樹の茂るあひだにはバナナの林あり椰樹の森あり、さらに一方には色もすがしき紅竹、蓬竹の叢生するがあるかと思へば林投、クロトン、サイザルの可憐なる

風情も あらう。又平地にはパインアップル、木瓜、甘蔗のさゝやかなる畑も設備されるといひ、比較的寒地にある朝鮮方面の人々には一度こゝに踏み込めば居ながらにして臺灣にあるかの如き感を起さしめずにはおかないであらう

バナヽの檢査が問題

朝博臺灣館中庭に造作される風景にはバナナ木瓜パインアップルその他熱帶のものが植込まれるがこれが植込みに當たり税關は一般の輸入品の如く正規の檢査を行ふか否か事務局では興味をもつて見て居る即ち現行の植物檢疫規則は檢疫および消毒のみに限定されて居るのでこの條文からすればバナナ、パインアップルの如きは果樹でないから檢査は受けなくともいゝ譯であるが果して税關はこれを果樹と認めないかどうか、から考へて來るとこれも面白い問題

北極に露國の新殖民地

【モスコー卅一日發】勞農ロシヤ碎氷船セドフ號は極北の地に恒久的殖民地を設置すべく探險のため七月二十八日フランツヨーゼフ、ランドに到着今や同地に勞農赤旗がひるがへつてゐる

雇人が大金拐帶
本町署が行方嚴探

府内黄金町一丁目一九二小寺組營業部數馬(二三)は卅一日午後四時頃同組建築工費一千圓を拐帶逃走した、所轄本町署では各地に手配し犯人嚴探中

空輸開始は來月の十日頃
それまでは愼重な試驗飛行

日本航空輸送會社の京城飛行場内事務室百十坪、格納庫三百三十坪の新築工事は豫定の如く運み來る五、六日頃上棟式を執行し八月末までに竣工のはずでブレゲー中島式機の到着で活氣づいてゐるが一般旅客輸送開始は九月十日頃の見込である

ガソリン補給を要請
日本側へ對し

【シャトル卅一日發】ワーク氏の太平洋横斷飛行後援會側ではシャトル駐在日本領事を通じ日本の千島群島で同機に對しガソリンの空中補給をなす設備をされたいと日本政府に要請した、なほアリユーシャン群島ではワシントンアラスカ空中輸送會社、ダッチハーバーでは瀕海石油會社が空中補給をなすものと解せられる

ヴ號沈沒は積荷過大

【ロンドン卅一日發】昨報アメリカ東海岸で沈沒し井上中佐以下多數の犠牲者を出した英國汽船ヴエストリス號の沈沒原因につき商務院は三十一日判定書を發表したが右によれば『同船の沈沒は積荷過大にして船の安定と浮揚力に十分余裕がなかつたが主原因で同船船長の避難指揮の遲かつたことは非難さるべきである』として左の如き建議を行つた

一、商務院は總ての外國行客船に對し嚴密檢査すべし

一、商務院は外國の港を出する英國船の吃水に注意し領事館員をして報告をなさしむべし

世界一周の壯途へ上る
きのふツエ伯號 米國へ向けて出發

【フリードリヒスハーフエン一日發】全世界の翹望なる熱狂の裡に世界一週大飛行を決行すべきドイツ大飛行船ツエツペリン伯號はその根據地として豫定通り一日午前三時二十九分(東京午前十一時二十九分)發地を出發し米國のレークハーストに向つた、同飛行船はレークハーストを八月七日出發同地を起點として東廻り世界一週飛行を試むべく東京着は八月一日の豫定である

燈臺のぞき……一

濃霧の海に道おしへの灯
露國艦隊全滅の地 下島島の燈臺

慶尚南道には下島島燈臺がある 下島島は釜山麗水航路に際して長崎水道と巨文島との間に浮ぶ……南西約一理半で木浦航路、および對支航路の重要地點にある

◇

かつては彼のバルチック艦隊もこの海峽を利用して朝鮮海峽を突破せんとしてかへつてわが艦隊に全滅せしめられたのである、この事によつて下島燈臺附近の海洋が世界的に有名になつた

◇

航通は一ケ年二千五六百隻であるがこの海道は霧多く島嶼、岩礁が散在するのみならず潮流が極めて急激であるから風と濃霧とが相反する時は恐ろしい濃霧を生ずる、夏季になれば濃霧が航路に發生して船舶の航行が杜絶することも珍しくない

◇

明治四十年頃の事であつた、燈臺未だおさまらず惡徒しきりに起り孤立無援の燈臺員はしば〜その襲來におびやかされ、その勤務に日夜苦心してゐたものである、幸に下島島は何らの災は蒙らなかつたが、當時の燈臺の苦心はなか〜であつた、島の材料にも銃を取つて飛び起き、危險を冒して戰つて大騒ぎした事もあつた

◇

明治四十三年五月燈臺丸(三千五百トン)が竹島附近で暗礁に接觸し沈沒した時にどうした工合か遭難船員をのせたボートが二隻下島燈臺まで漂流して來たので、これを救助した事もあつた(寫眞は下島島の燈臺)

第六回 全鮮野球爭霸戰 來る十八日から四日間擧行 本社主催

きのふ本社を訪問した江見水蔭氏(左)(右)は同道の大原利武氏

文壇の道は高級大衆文藝へ
朝鮮はなつかしい所 江見水蔭老來る

南山町は京城ホテル、庭の奥に設けられた

瀧の音 もすんで盛夏の朝鮮に一片の涼を添へる、そこの一室に、いま入城中の江見水蔭氏はポツリ〜と語り出すのである『僕の親爺かれ、花房公使と同役で少年時代の僕は朝鮮をよくきかされたものだ、その朝鮮に足を踏入れたのは今度が最初なのだ、話にきかされた地にいまは感慨深い涙が出さうだ、これからさきの文壇はどうなるかつて、一頃さはがれた、プロレタリヤ文學も行き詰つた、大衆文藝がそれに代つた位置を占めたがそれも今日では殆ど勢力はない、時代に投じた探偵小説も矢張り先は知れてゐる、僕はこれからさきは、眞に文藝的良心に目覺て自分一人上がりにならぬ

作品が 要求されるのではないかと考へる、僕はこれを高級大衆文藝と名づけたい…』同氏は一日午後七時から京城ホテルで開かれた岡山縣人會主催の歡迎宴に臨み、二日は午後六時から京城放送局で、同八時からは朝鮮館で、三日は更に放送局でおの〜講演し三日午後十時五十五分京城驛發列車で元山に向ふはず

李相伊の上告を棄却

【東京電報】慶尚南道咸安郡生れ李相伊にかゝる傷害致死事件は懲役五年を不服とし上告してゐたが一日棄却の判決があつた、右は北海道で稼せぎ昨年七月歸京したが留守に關して置いた内縁の妻を田顯百が暴行したものと誤解し田を撲殺したものである

數間引ずられ全身に重傷
女の命は大丈夫 鍾路の轢傷事件

一日午後四時過ぎ鍾路通り二丁目で電車の轢傷事件があり、何分交通繁雜な場所とてまたゝく間に電車十數臺が立往生となり一時は非常な

雜踏 を呈したが、約十分間で交通復活した、事件は午後四時十五分頃鍾路入口から東大門行き百三十一號電車(運轉手入八、男)車掌一二一李盛國(二七)が、鍾路二丁目八十六番地先を進行中、同九番地に向つて一度電車道を橫切つた三十歳位の女が、反對側から自動車が疾走して來たのをよけんとして後戻りしたので忽ち電車に跳ね倒され約二十八尺引ずられて頭ケ所に負傷を負ふたので、鍾路署では直に附近の東亞病院に收容應急手當てを行ひ赤十字病院に送つた、右は府内孔德洞二七六無職金一(二〇)で相當重傷であるが

強度 の腦震盪に罹つたが幸ひに致命傷に至らなかつたので生命には別状ない見込みである

電車爆破の崔興友送致

七月七日午後三時頃府内孔德洞五番地の電車軌道にダイナマイトを仕かけ電車の爆破を企てた崔興友(二一)は鍾路署において取調べを終り一日爆發物取締罰則違反として送局された

山の小火 一日午後二時頃府内光化門通り一總督府裏山に出火があつたのを附近の人が發見直に消しとめた、原因は小供の悪戯から

兩運轉手にまたお灸
速度違反と轢傷で

府營バス運轉手林能鳳(二二)は七月……て道路通行中の府內平洞三三宋(?)を轢き傷し右足脛部に治療五日の負傷をさせたので過失傷害として就業停止十日間また府內竹添洞五三高陽自動車部の金明植、鍾路三丁目一京畿自動車部の林才(?)、竹添町二ノ三龍山タクシーの李道(?)の三名は七月二十七日午後十一時から翌二十八日午前二時に至る間に府內南大門通りおよび岡崎町附近で一時間二十五マイル以上の規定以外の速度で走つたのを保安課員に認定され、いづれも速度違反として七日間の就業停止に處せられた

―遭難場所の檢證―

本間家の光 彌一氏死去

【東京電報】昔から本間樣にはおよびもないがせめてなりたや殿様にと謳はれた日本一の大地主山形縣酒田町本間家の當主本間光彌氏(五)は內臟の疾患で順天堂病院で治療中の所卅一日夜十一時遂に死亡した

死の原因は腦膜炎と判る
きのふ家族檢事立會で 解剖に附さる

夕刊既報=取調べの巡査に毆打されたる直後、一日午前四時死亡するに至つた府內蓬洞百十二番地、宋賀燮(二一)に絡まる事件は遂に家族側の申出となり一日午後五時から總督府病院で醫師、京城地方法院檢事、西大門署の山口司法主任、および被害者の親族等立會の上、田中丸院長の執刀の下に解剖に附した結果、死因は重なる腦膜炎で頭部を毆打された形跡は全然なく傷害が之に起因せずとしても、それが致命傷にあらざることは明白となりこゝに物議を醸した事件も何なく解決されることになつた

毆打が原因ではない
田中丸氏談

田中丸病院長は語る 問題の宋の解剖は檢事等立會の下に慎重に行ひましたが、その結果死因は全然毆打されたことによるのでないことだけは明白となりました

勢子を狩出しぬくて狩り
十名を死傷さす 大邱郊外で大騷ぎ

【大邱特電】卅一日午後九時頃慶北……月田洞に大ヌクテ一頭あらはれ一日午前二時まで同洞外四ケ洞を荒し廻り八名に重傷を負はせ二名をかみ殺し一名をくはへさつた、同郡署では警官十名を武裝せしめ部落民四百名を勢子として大々的ヌクテ狩を行つてゐる

暑さ襲來ではねた氷の値
小賣は三錢方 但し昨年より安い

氷が騰つた、八月一日から京城市中の卸し相場は一貫目四錢から五錢に一錢方引上げたので、小賣相場も一貫目七錢から十錢となつた

これは**昨今**天候續きのため需要が加はり氷の需要が一日二百屯(五萬四千貫)に達し平素の二倍となつたためであるしかし今年の氷は採氷期に優良な氷が多量にとれたので、在庫量は約一萬七千トンに達し、この他人造氷も一日二十トン宛生産されるので、今後猛暑の需要など見越しても供給は十分にあるので、卸し相場が五錢となつても昨年の今頃に比べるとまだ二錢安い譯である、なほ今年の氷値は出はじめ卸し一貫目三錢だつたのが、五月一日から四錢になり八月一日から五錢になつたもので當分この値段のまゝで七錢になることは

先づ あるまいと當業者は

債券を種に詐欺を働く

【仁川特電】仁川花町一丁目六〇番地日本殖産株式會社々長三宅光興(?)同會社員一犯松原某の兩名は本年二月から資本金十五萬圓等と大ぼらをふいて新聞紙上で勤務者及事務員募集の廣告をあげ無智の失職者から身元保證金をまきあげることにして身元保證金二百圓を提供したる者は一ケ月四十圓給料をやると甘い餌をならべて、事務員、外交員等と稱し桃山町既設金融業から百七十七圓その他十五名の外交員に辭令をやり勤務保險金の名目で三百圓を詐取したが仁川署員に探知され數日前から三名を拘留取調べ中

公敎會の默想會
浦川氏來城

昨年來城して本社來訪の際で『切支丹の潜伏とその遺蹟』の講演をなした長崎神學校教授浦川和三郎師は三十一日朝再び入城し、目下京城明治町の天主公敎會内に滯在し、一日午後八時より五日間、同敎會内信者を集めて默想會を開催し、信仰ケ條について指導する事となり一般の參聽を歡迎して居る

山の手線で電車追突
重輕傷十三名

【東京電報】三十一日朝七時四十七分上野發の山の手線電車へ京濱線電車が追突し、重輕傷者十三名を出した

船長を譴責

鎭南浦の川手今吉氏所有帆船第二大島丸船長小西吉助は航行期間經過を引續き昭和三年七月から同年十二月卅日まで航海に從事した事實發覺して卅日午前九時から遞信局內の海員審判所で審判開廷の結果船長としての職務に違背するものと認め譴責の言渡を受けた

洪委員退く

京城府で方面委員制度實施以來東部方面委員として熱心その職に勵精し委員の遂行に貢獻あつた府內和洞一一九番地洪文周氏は今回家事の都合にて府外仁川面眞前里に移轉した爲東部方面委員を退職することゝなつた

アナウンス

▲府內明治町小盛坂の間村介石さん、七月中旬の豪雨をいひ當てゝ喝采を博したが▲この頃ケイをたてゝみると又また豪雨襲來の徵候があつた▲この四、五日から十日までに支那地方を脅かした猛烈な低氣壓が襲來して▲朝鮮に大地方的豪雨を降らす前兆がある▲朝鮮は內地へお裾分けするらしいが朝鮮に水の猛烈で▲アノ形勢を一掃するには不十分であらう▲といふことなほ八、九月は颱風大氣の變化期で、顯著な颱風化が多い天候狀態を現すが▲地中を激行する熱潮の襲來もまだ十分いに警戒を要す、この熱潮の襲來は地震、噴火、大火災等で人類の運命と密接な關係を有するのであるからこれ又警戒を要するとある

ナッシュ
特約販賣店 山本自動車商會 京城府太平通二丁目

國際ソース 國際酢の素
大量製産 安くて好く 美味 國際ソース 國際酢の素
製造元 株式會社 笹原商店

地圖兵書軍需品 龍山練兵町 川林又七出張店

●最近納入先 鐵道省、東京市役所、會計檢査院、府縣廳
別型五號 併二號特別大割引
日本發明獎勵會金庫部

株式失權公告
[illegible]
昭和四年八月二日
株式會社 朝鮮殖産銀行

呼吸器病專門
一般內科病 呼吸器病科 レントゲン科 紫外光線科 人工氣胸科
醫學博士 正田政人
京都帝大醫學士 大利政忠
山口縣 虹ケ濱病院

煎餅 名古屋市 寶玉山

京日案內
賣地
五圓

淋疾・黴毒・下疳 泌尿生殖器病科 京城明治町 塩井醫院

齒科 河內齒科醫院 河內一宗 電本三九五八番

問組

特別案內
女子事務員募集
店員
恩給
支部
古本
求妻
貸家

運命の浪 【79】

遠藤柳雨作　多田穀三畫

吹雪の海(一)

雪を千切つてなげるやうな雪は目の前がまつくらになるまで、はげしく降りだして居た。

海も陸も空も、たゞ一色の夜のやみにつゝまれてゐる上に、次第に猛烈な吹雪とかはつて、目を遮るものゝ總てが、風と雪をつゝんだ黒い世界だつた。おまけに北緯の十二月は内地の一月以上に寒く時間は夜の十一時に近かつた。

紛らはしきニセモノあり　御注意願ひます　の商標によく　明治町　木村屋

函館港の寂しい暗い海岸の裏所に人目を忍ぶやうに碇泊して居た、余り形の大きくない船の北の舷側に、吹雪を浴びながら、一條の梯子と懷中電燈とを便りにさかんに作業をして居る、全身を黒い外套につゝんだ、二個の黒影に似た人影があつた。

『大丈夫か確かりたのむぜ』

『大丈夫だ』

一人はその一端を肩に、他の一人は兩手を左右にかけて、二人して一つのトランクをもつて、舷側の梯子を一歩々々、下へ下へと降りて行く、陸から飛んでくる雪と風とが、時々二人の行動を妨げる。

『あぶないぞ、大丈夫か、足元に氣をつけろ』

上の男が吹雪の裡で叫んだ。

『静かにやつてくれ』

舷にすゝんだのが下から答える一個のトランクを肩と手とに安たふたつの黒い影、梯子に立つた怪人は、次第々々に梯子を降りて、やがて大胆にやつて

佐々木胃腸病院　京城明治町二丁目　入院隨意　電本三八七三　一七一六

トランクはボートの内に運び込まれた、みると人間一人入れてありそうな大きさで、可なり嚴重に鍵がかけてあつた。

『ヨシ、これでいゝ、あゝ骨が折れた。肉がメリ込みさうだつた』

さういつて一人は肩を兩手で押へた。

『指もきかなくなつたよ』

一人は指を折つたり開いたりした

『さア、これからは陸へ急ぐんだなんにしろこの吹雪ぢやア大丈夫だ』

『天道人を殺さずか』

一人がロップを解く内に、他の一人はオールを握つた、かくして一艘のボートは、猛烈なるふぶきの海上へと次第々々にあやしい船のかたはらから遠去かつて行くのだ。

『もう大丈夫だ、ここまでくりやア』

『然し陸あげが一寄だ』

『陸にや仲間が待つてゐるから』

『あやしい仲間がなア、はゝは』

激しいふぶきを衝いて、なぞのトランクをのせたその怪人にまもられたボートは、北のさびしい港湾をさして、陸地へと急いで行く

來た、そこからつゞく一面の暗い海は、雪と風と黒い夜の色とに、押つゝまれて寸前暗黒であつた。

『や、來たぞ、一寸待つてくれ』

『いそぐな』

前のが右手に懷中電燈をだして足元の波打際を照らしてみた、目に入つたのは一艘のボートである、ボートは船側の梯子にもやつてあるそのロップさへ切つて放せば、何時でも海上に漂ひだすやうになつてゐる、ボートの内は雪で一杯だ、そして波がそれを軽く弄んで居た。

『静かにやつてくれ』

『ヨシ』

下と上とで聲をかけ合ふ内に、

電本 726

時計十二時は過ぎて居た、陸からく吹いて來る風で、齒を刺し通しさうな寒風は、遠慮なく横顔に吹く、ふぶきはボートの前後左右を覆ふ。

『うたまらねえ』

『弱い音を吐くな』

一時近い頃にボートは、さびしい沿岸の暗い、寒い、無人の濱へと着いた。

理想的な『日本地理風俗大系』

農學博士　新渡戸稻造

國際的交渉の頻繁になつた今日我等は世界的知識に目醒めることも必要であるが、その前提として自國を研究することは日本國民として當然の事である。歴史的に見た日本、地理的に見た日本、或はその他それぞれ異なつた立場から見た日本、それ等も日本研究の一つの方法であるが、今日我々に最も缺如してゐるものは、日本全體を客體としてその科學的の考察である。

我が日本の民族とその文化とが如何に强健にして世界に優れてゐるか、而してこれ等の光輝ある民族と文化とは、抑も如何なる自然的條件に基因するか、更に非常なる速力を以て、近代化しつゝある全國各地の現況はどうであらう。その經濟、その産業、その風俗等は如何なる現狀にあり、將來は如何になるべきか、それ等一切の問題を科學的に分析し解剖して、その眞の姿を闡明することは、日本國民として必須缺く可からざる事柄である。

最近出版界は圓本に次ぐに圓本を以てし、所謂洪水を現出しつゝあるが、不幸にして此要求に應ずべき出版物の一として見るを得ないのは吾輩の最も遺憾とする處である。然るに『萬有科學大系』及『世界地理風俗大系』の大出版を世に問ひ、共に劃期的出版物として絶大の好評を博し、學術的出版物發行の權威として、最近出版界に萬丈の氣焔を吐きつゝある新光社にては、今や其多年の經驗を基礎として、『日本地理風俗大系』十二卷の刊行を決するに至つた。思ふに同社の學術的出版物に對する多年の經驗と、信頼するに足る出版良心とは、世界的設計に成る近代日本の自然と人文とに關する最新研究の一切を網羅して燦然たる一大寶塔を現出すべく、吾輩は此企が必ずや新日本の國民的進歩に貢獻すること絶大なるものあることを確信し、敢へて之を滿天下に推薦するを憚からない次第である。尙詳細内容見本は東京神田錦町一丁目新光社へ申込めば進呈する由。

讀者らん

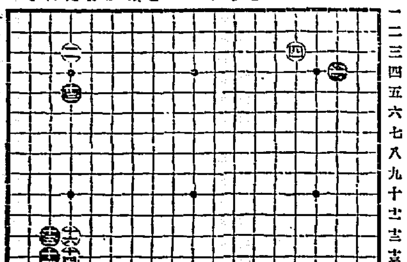
▲龍山三角地附近にてニツケル鍍カンサツ付犬の首輪をお拾ひの方は御知らせ下さい謝禮に上がります漢江通り三山醫院飼犬(へり)(府民)

▲…としるしてあります(山根)▲實感したいと思つて御座るますのでどれだけ一人で御座るますのでどなたかよいつれはないかと未だ遠足を見合せております山陰に又は山陰線通過にて八月初め頃御座いませんか(本局三六三八番に午前九時から午後五時の間)▲○○事務所に最近內地より轉任されて主任さん今までのしきたりを根底からまぜつかやして角から角までの改革は誠によい事だとは思ひますが職員が感激しても當ゆべき休暇はやらぬ方にするといふことでしたが慰勞と休暇とはどれだけの利益がありますか、椅子にもたれて口をあけて居眠をされておられますが部下をいぢめるより自己が腕をみがかなければ改革も無効になりますよ(非佐賀縣人)▲今度新町遊廓の中にダンスホールが出來るとの事ですが踊者を相手に不良分子のみが喜ぶ樣な新舞踊に警察の許可する樣な紳士淑女が安心して樂める、もつと高尚なる趣味を持つて遊ばれるもけがらはしいものをよくも認めの方で許してよろこんでゐるには全くあきれますね同じつくるならかゝですか國際的舞踏場もつくつてはいけないものでしたらもつと目ざめて反省して下さい(一般民衆代表者)▲佐々木貞香(仁川府內仁川花町二ノ七)幼友朋んまで御住いで御座ゐますか識者ら町に御住いで御座ゐますか

▲二十九日夜十一時頃京城驛より流域通過にて黑地鱗のカスリジマの雨神落しましたがもしおひろひの方はお知らせ下さいませ(京城櫻井町二ノ一三九坂井)▲近來の行動に關し云々する者特に理解あるべきはずの綜合附近居住者に多きは國民の疑惑を招くに至る恐れあり由々しきものにして帝國軍人の志氣に影響するところ大なるものあり國家の經驗はしき限りなり軍人も人間なり炎熱酷暑には閉口もした「ストーブ」も顧みたい。然し治に居て亂を忘れず有事の際に充分本分を盡くさむ爲にはこの炎天下に假想敵を以て毎日演習し職務を研究し身神を鍛るものなりしかして演習期即ち假想戰鬪なりその行動を達成する爲には時々郊外を通行せねばならぬものなり一體軍隊の演習は運動會や野遊會とは違ふわずか一少部分の人間の意思上の不便位を我慢するが國民の義務なり(府民)

圍碁新局 (一)

高橋郭行(三段)
先 坂口富次郎(初段)



一 は四	二 れ十六	三 は十一	四 へ十六	五 た十七	六 た三	七 は十五	八 れ六	九 ほ十二	十 よ十六
十一 に十七	十二 に五	十三 れ十六	十四 に十	十五 れ十四	十六 ほ三	十七 よ十七	十八 に十五	十九 れ十二	廿 ぬ十七

大正館

八月一日より納涼特別大興行　日本キネマ特作品　狂戀マリヤ　六卷　千代田秀一、市川…

春の唄　八卷

中央館

マキノ八月一日より封切特別大公開　旗本小普請衆　全十二卷

戻橋　全六卷

東亞倶樂部

荒木又右衛門

大冒險王

夏期御臺所の衛生と美化

朝鮮藥學校教授池田先生創製　理化學應用　衛生食器磨

食器　ガラス器　金物　木具　研磨と殺菌消毒

發賣元　京城南大門通松汀里　鈴木商會

特約店募集

擴張完備のナニワホテル

一昨年新築開業のナニワホテルは四方各位の豫想外の歡迎を受け半年ならずして早くも室數不足の盛況を呈し於茲御客樣の御不便を恐れ昨年春更に隣接地に一大增築工事を起し畢く今回大典の佳辰に當り增築部開業の盛運を覩るは欣喜に堪へません私し和洋完備のナニワホテルは獨特文化的新味を加へ御優遇申上げ精々御感じの宜しき樣專心注意して居ります何卒相變らず御愛顧の榮を賜り度く御願ひ申上ます

特色
一、御宿料　壹圓五十錢より
一、食堂　和食、洋食
一、各室に電話あり
一、自動車の設備があります

大連市浪速町角　ナニワホテル

電話代表七一六四・事務用長三三四五

健康と長壽に　壽の素

一缶一ヶ月分　一、五〇

京城本町　(山岸、龜屋、森川、古城)

ウテナ

專賣特許

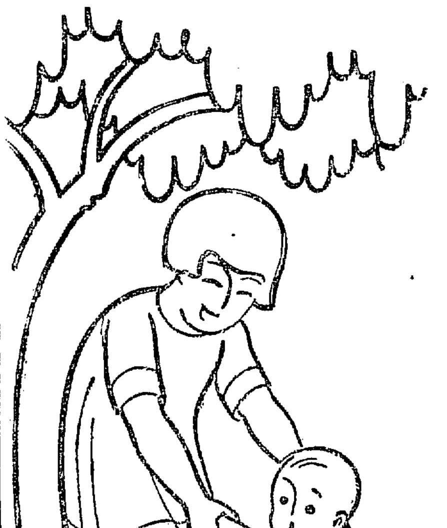
色白くいつも美しく幸福に

涼み臺に夕のロマンスに美しく目立つ彼女!

なつかしき魅力は色白くなる「ウテナ」から

『ウテナ』は全國の藥店化粧品店大百貨店にあり――定價　一圓、二圓、三圓――

43—19



金線ミルク

全鮮到る處の藥店に販賣す

製造元　極東煉乳株式會社

販賣元　三井物産株式會社

優良醬油

仁川高杉醬油釀造場

日・英・米・佛・專賣特許

醫學諸大家實驗推獎

化學工業博覽會金牌受領

大禮記念東京博覽會優良國産賞牌受領

河合龜太郎創製

高級滋養强壯料

肝油ドロップス

美味佳香の菓子形を呈し、榮養不良、虚弱、貧血、産前産後、精力減退、老衰、神經衰弱、夜盲其他諸眼病、佝僂病其他諸骨病、腺病質(瘰癧)、百日咳、肋膜炎、肺尖加答兒特に結核性素質に對する卓効的滋養强壯料

肝油の效能をヴイタミンAのみに歸すべからざるは論を俟たず、本品はヴイタミンAは勿論、肝油の全有效成分を、最も濃厚なる狀態に於て含有せしめたる◎濃厚肝油を原料とし尙有機性の燐、カルシウム、鐵、キナ及びヴイタミンB等の强壯料を加へ、更に麥芽糖及び含窒素物を用ひて完全に乳化を行ひ、固結せしめたるを以て、普通の肝油劑と異り消化吸收最も容易にして、小兒は勿論、何人の嗜好にも適す。

◇用量、用法、其他の詳細は説明書に記載して有ります

定價　五十顆入　一瓶　金一圓二十錢
　　　百二十顆入　一瓶　金二圓二十錢

(藥店、和洋酒食料品店、雜貨店にあり、最寄に無きときは本舗へ御註文を乞ふ)

◎ミツワ石鹼本舗　丸見屋商店
東京市下谷區二長町　營業所
振替口座東京七一〇番
電話下谷(83)一一〇一番

日・英・佛專賣特許　滋養强壯料(河合龜太郎創製)　醫學諸大家實驗推獎

◎濃厚肝油(液狀瓶入)　定價　一瓶百五十瓦入　金一圓三十錢

◎ヴイタミン肝油球(濃厚肝油膠囊入)　定價　一瓶七十五粒入　金一圓

右兩品は天然肝油を濃縮し、ヴイタミンA其他全有效成分の含量を著しく增大したるが故に用量は逈に少くして足り、惡臭味無く消化障碍を起さず。前者は廉く經濟的に使用せられ、小兒科にては被數にて應用に賞用す。後者は服用に便にして絶對に油の臭味無く、大人用として至便なり。(文獻・説明書・見本品送呈)

文獻・見本品
醫學諸大家の實驗推獎に關する文獻・說明書並に見本品進呈